

建設総務課

課長 上條 裕久

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建設総務課	課CD	08100000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	負担金 (道路、河川等の建設及び整備)
-------	------------------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
各種同盟会等を窓口として、国・県に事業の進捗を働きかけるもの。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

道路、河川等の建設及び整備を促進するため、25の同盟会等に参加し、国、県等への要望活動を実施しています。
 12団体で中央要望を、8団体で県要望を実施しました。
 本市が事務を担当する同盟会等は以下のとおりです。
 (1) 地域高規格道路松本糸魚川連絡道路建設促進期成同盟会
 (2) 中部縦貫自動車道(松本～中ノ湯間道路)建設・国道158号整備促進期成同盟会
 (3) 中部縦貫自動車道建設促進長野・岐阜連絡協議会
 (4) 松本・佐久地域高規格道路建設促進期成同盟会
 (5) 国道143号整備促進期成同盟会
 (6) 国道19号松本拡幅建設促進連絡協議会
 (7) 主要地方道奈川木祖線整備促進期成同盟会
 (8) 奈良井川水系河川改良促進期成同盟会
 (9) 犀川直轄改修期成同盟会
 (10) 長野県道路整備期成同盟会松塩筑地区会
 (11) 長野県治水砂防協会松塩筑支部

＜現状に対する認識＞

・更なる事業進捗が図れるよう国・県への要望活動を実施していく

＜指標の達成状況＞	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	5,852				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	5,852				
② 人件費(千円)	26,915	人工	人工	人工	人工
正規	26,915	3.5			
嘱託	0				
合計コスト①+②	32,767				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建設総務課	課CD	08100000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	県有料道路通行料金負担軽減事業
-------	-----------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	7 人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取組み	○中部縦貫道などの、広域道路網の整備促進
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
—	—	—	—	松本版総合戦略	②高次広範の観光戦略

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	県有料道路通行料金負担軽減事業

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
三才山トンネルの無償化予定年度(H33年6月)及び平井寺トンネルの無償化予定年度(H30年8月)までの間に、県の助成金を活用した時間帯割引制度を導入し、利用市民の経済的負担軽減を図るもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

(概要)	
県が制定した「長野県有料道路利用者負担軽減事業実施要綱」に基づき、「時間帯割引回数通行券」を市が購入し、市民に販売するもの	
(事業内容)	
県道路公社から市が通行券を購入	(6割)
市の購入実績に応じて県が県道路公社へ負担額を支払う	(2割)
市が利用者に割引引いて販売	(5割)

＜現状に対する認識＞

時間帯割引回数通行券の購入者からは、早期無料化を求める要望があり、上田市、安曇野市とともに、早期完全無料化を県へ要望していきます。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	購入者				
目標値					
実績値	2,643				
達成度					
② 成果指標(指標名)	三才山トンネル通行台数				
目標値	2,580,000	2,580,000	2,580,000	2,580,000	2,580,000
実績値	2,619,000				
達成度	101.5%				

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	44,061				
国・県					
利用者負担金	34,830				
その他					
一般財源	9,231				
② 人件費(千円)	3845	人工	人工	人工	人工
正規	3845	0.5			
嘱託	0				
合計コスト①+②	47,906				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建設総務課	課CD	08100000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	登記事務
-------	------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	主な取り組み		
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	登記事務費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
<ul style="list-style-type: none"> ・未登記市道の解消をはある。 ・登記委託することにより、事務及び経費の効率が図れる。 		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
<ul style="list-style-type: none"> ・未登記道路について、地権者からの寄付を前提に分筆測量を実施し、所有権を市へ移転する。 ・他課からの依頼による公有財産取得に伴う用地交渉や囑託登記事務事業 ・松本市土地開発公社登記事務委託をし、適正な公共事業用地等を確保するために、市の公有財産取得に伴う所有権移転登記を行う。

＜現状に対する認識＞
<ul style="list-style-type: none"> ・未登記道路の解消が図れる。 ・登記事務を委託することにより、事務及び経費の効率化が図れる。

＜指標の達成状況＞	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	4,350				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	4,350				
② 人件費(千円)	15,380	人工	人工	人工	人工
正規	15,380	2			
囑託	0				
合計コスト①+②	19,730				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建設総務課	課CD	08100000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	補助金(国道19号)
-------	------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	7 人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取組み	○中部縦貫道などの、広域道路網の整備促進
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
—	—	—	松本版総合戦略	②	高次広範の観光戦略

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

国が行う国道19号松本拡幅事業に対して、市の関連事業及び地元調整を行い事業の推進を図ります。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

民間団体と連携のため、地元協議会が行う研究、調査、地元調整等の活動を支援することにより、国道19号の建設事業の円滑な促進を図るため、補助金を交付しています。

＜現状に対する認識＞

＜指標の達成状況＞

総合評価		B				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
① 成果指標(指標名)	用地取得率					
目標値	未公表					
実績値	32%					
達成度						
② 成果指標(指標名)						
目標値						
実績値						
達成度						

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	350				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	350				
② 人件費(千円)	10766	人工	人工	人工	人工
正規	10766	1.4			
嘱託	0				
合計コスト①+②	11,116				
前年度比	—				

事務事業評価票

作成日 平成29年9月25日

事務事業名	交付金 (中部縦貫自動車道建設事業)
-------	-----------------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	交付金

部局名	建設部	課名	建設総務課	課CD	08100000
-----	-----	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	7 人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取組み	○中部縦貫道などの、広域道路網の整備促進
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
—	—	—	—	松本版総合戦略	②高次広範の観光戦略

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
国が行う国道及び高規格道路等の幹線道路の事業に対して、市の関連事業及び地元調整を行い、事業の推進を図ります。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
<p>地元4地区が設置する対策委員会で行う研究、調査、地元調整等の活動を支援することにより、中部縦貫自動車道建設事業の円滑な促進を図るため、交付金を交付しています。</p> <p>(1)島立地区中部縦貫自動車道対策委員会 (2)和田地区中部縦貫自動車道対策委員会 (3)新村地区中部縦貫自動車道対策委員会 (4)波田地区中部縦貫自動車道対策委員会</p>

＜現状に対する認識＞

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	事業進捗率				
目標値	未公表				
実績値	13%				
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	300					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	300					
② 人件費(千円)	9,228	人工	人工	人工	人工	人工
正規	9,228	1.2				
嘱託	0					
合計コスト①+②	9,528					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建設総務課	課CD	08100000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	負担金 (県の道路事業県管理道路)
-------	----------------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	7 人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取組み	○中部縦貫道などの、広域道路網の整備促進
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
—	—	—	松本版総合戦略	②	高次広範の観光戦略

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
県管理道路(国、県道)について、主要都市間道路ネットワークの整備により、渋滞対策、快適性、安全性の確保及び歩行者、自転車の安全対策等を図り、将来世代につなぐ総合的な道路整備を行うもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
県が行う道路改良事業について、円滑な事業推進が図られるよう、関係者等との調整を行う。 道路法第52条により、県が行う街路の新設または改良する費用の一部を市町村で負担するもの。

＜現状に対する認識＞

＜指標の達成状況＞	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	83,588				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	83,588				
② 人件費(千円)	10,766	人工	人工	人工	人工
正規	10,766	1.4			
嘱託	0				
合計コスト①+②	94,354				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	上高地対策課	課CD	08120000
-----	-----	----	--------	-----	----------

事務事業名	上高地対策事業
-------	---------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	上高地対策事業費

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>			
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	6	大胆な観光戦略を起爆剤として、活気ある地域経済を創出します	
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち	市長公約	主な取組み	○北アルプスや美ヶ原など、広域山岳観光の推進		
基本施策(個別目標)	513	山岳観光の推進	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備		
—	—	—	—	松本版総合戦略	②高次広範の観光戦略		

<事業の狙い>

事業計画年度	27～30
--------	-------

日本を代表する山岳景勝地である上高地を、全ての利用者が安全で安心して訪れることができるにするため、「上高地対策短期・中長期計画」に基づく対策事業を実施するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 徳沢、横尾地区への管理用道路の調査
 新村橋～徳沢 L=1,000m
 新村橋～横尾 L=3,000m
- 新村橋付近に恒久的な車道橋の計画調査
 車道橋 L=70m
- 徳沢～横尾地区への電源供給施設、光ファイバーケーブル敷設の計画調査

<現状に対する認識>

--

<指標の達成状況>

総合評価	B				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	上高地来訪者数(万人)				
目標値					
実績値	123				
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	12,182				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	12,182				
② 人件費(千円)	6152	人工	人工	人工	人工
正規	6152	0.8			
嘱託	0				
合計コスト①+②	18,334				
前年度比	—				

都市政策課

課長 桐沢 明雄

事務事業評価票

事務事業名	都市計画策定事業費
-------	-----------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	都市計画策定事業費

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	主な取り組み		
基本施策(個別目標)	331	調和した土地利用の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	松本版総合戦略	⑥	コンパクトな都市と賑わいの創出

＜事業の狙い＞	事業計画年度
少子高齢化や人口減少など、土地利用をめぐる社会構造は大きく変化していくと予想されます。こうした変化を的確に捉え、農地と市街地、地域間等のバランスを考慮した、秩序ある土地利用を進めます。	

- ＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
- 立地適正化計画
 - 立地適正化計画を策定し、都市機能誘導区域を設定
 - 都市計画マスタープラン
 - 都市計画マスタープランに示す望ましい都市像に実現のため、PDCAサイクルによる進捗管理
 - 都市計画基礎調査
 - 人口、産業、土地利用、建物、都市施設、交通等の現況及び将来の見通しを把握するため、概ね5年に1度調査する。H28は29調査のための県との事前協議
 - 民間開発の調整
 - H29秋出店予定のイオンモール松本の開店に伴う交通対策について関係機関との調整
 - 基本図更新
 - 15図郭の図面修正
 - 都市計画審議会
 - 用途地域の変更、地区計画の決定などを案件とし2回の審議会を開催

＜現状に対する認識＞

福祉・医療・商業等の都市機能や居住を誘導するため、都市機能誘導区域と誘導施設を設定し、居住誘導区域や目標値を定め、コンパクトで歩いて暮らせる集約型のまちづくりを進めます。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	辺の自然や農地とのバランスがとれた開発が行われていると思う市民の割合				
目標値	50.2	52.7	55.1	57.6	60
実績値	50.2				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	24,176				
国・県	2,862				
利用者負担金					
その他					
一般財源	21,314				
② 人件費(千円)	21993	人工	人工	人工	人工
正規	21993	2.86			
嘱託	0				
合計コスト①+②	46,169				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	許認可事務(都市計画法第53条の許可、地区計画他)
-------	---------------------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取組み	
基本施策(個別目標)	331	調和した土地利用の推進		5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	都市計画策定事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
良好な都市環境、秩序ある市街地の形成を図るため、必要な許認可を行い合わせて指導、助言する。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞	
都市計画法第53条	14件
都市計画法第58条	16件
都市計画法第58条の2	97件
建築計画協議	261件
都市計画証明	31件
開発協議	34件
開発審査会	22件
大規模小売店舗立地法	3件
国土利用計画法	21件
公有地拡大法	14件
農振除外事前協議	22件

＜現状に対する認識＞
申請に対し適切な審査・指導・助言を行う

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値	535				
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	0				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源					
② 人件費(千円)	4,438	人工	人工	人工	人工
正規	4,153	0.54			
嘱託	285	0.1			
合計コスト①+②	4,438				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	都市計画策定事業(基本図更新)
-------	-----------------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>	
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	331	調和した土地利用の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	松本版総合戦略	⑥	コンパクトな都市と賑わいの創出

<予算上の位置付け>	
会計名	一般会計
予算中事業名	都市計画策定事業費

<事業の狙い>	事業計画年度
計画的土地利用による快適な都市の形成をめざすため、測量法に基づき、都市計画の基本となる松本市基本図の更新整備を行う。	

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>
松本市内を分割し定期的に基本図の修正を行う。 庁用の都市計画図を作成するとともに領布を行う。

<現状に対する認識>
建設部独自のGISを運用していたが、今後は全庁型GISへ移行する。

<指標の達成状況>	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	地図更新面積				
目標値	45	50	46	46	77
実績値	45				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	18,299				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	18,299				
② 人件費(千円)	1,846	人工	人工	人工	人工
正規	1,846	0.24			
嘱託	0				
合計コスト①+②	20,145				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	都市計画策定事業 (村井駅周辺整備)
-------	-----------------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	7 人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取組み	〇次世代交通政策の可視化・具現化
基本施策(個別目標)	334	交通のまちづくりの推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	松本版総合戦略	⑥	コンパクトな都市と賑わいの創出

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	都市計画策定事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度
交通結節点であるJR村井駅や周辺地域における交通利便性・快適性を高め、徒歩や自転車ですべて自由に移動できる、安全で安心なまちづくりを実現するため交通環境改善計画を策定する。	

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
自由通路及び駅施設整備のため、関係機関及び地元部会と協議を進める。 アクセス道路など、駅周辺整備について関係機関及び地元部会と協議を進める。

＜現状に対する認識＞
協議会を設置し、基本計画の策定を進める。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	村井駅利用者数(1日当たり平均値)				
目標値					3400
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	0					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源						
② 人件費(千円)	1,615	人工	人工	人工	人工	人工
正規	1,615	0.21				
嘱託	0					
合計コスト①+②	1,615					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	都市計画策定事業 (都市計画道路の見直し)
-------	--------------------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	7 人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取組み	○次世代交通政策の可視化・具現化
基本施策(個別目標)	334	交通のまちづくりの推進	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	都市計画策定事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H23～
既存道路ネットワークの有効利用を図り、効率的・効果的な道路整備を行うため都市計画道路の見直しを行う。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

＜現状に対する認識＞

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	0					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源						
② 人件費(千円)	5,844	人工	人工	人工	人工	人工
正規	5,844	0.76				
嘱託	0					
合計コスト①+②	5,844					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	都市計画策定事業費(空き家対策)
-------	------------------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>			
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約			
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取り組み				
基本施策(個別目標)	432	景観維持、保全の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり		
—	—	—	松本版総合戦略	⑥コンパクトな都市と賑わいの創出			

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	都市計画策定事業費

<事業の狙い>

事業計画年度	
--------	--

住宅マスタープランの実現化に向けた住宅・宅地ストックの活用と流通の促進及び管理不適切な空き家の集積により悪化する居住環境の改善を図るため、空き家活用リストを作成し、今後の空き家対策事業の基礎資料とする。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

長野県事業である、まち中リノベーション推進事業により空き家見学会の開催。

<現状に対する認識>

空き家・空き地が増加している中で、実態が把握できていない。有効活用できる数や位置のどの情報が不足している。

<指標の達成状況>

		総合評価				
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					
② 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	0									
	国・県									
	利用者負担金									
	その他									
② 人件費(千円)	846	人工		人工		人工		人工		人工
	846	0.11								
	0									
合計コスト①+②	846									
前年度比	—									

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	都市計画策定事業費(都市再生整備計画・松本城三の丸物語)
-------	------------------------------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>			
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約			
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち	市長公約	主な取組み			
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり		
—	—	—	—	松本版総合戦略	⑥コンパクトな都市と賑わいの創出		

<予算上の位置付け>	
会計名	一般会計
予算中事業名	都市計画策定事業費

<事業の狙い>	事業計画年度	H26~
回遊性に富む賑わいのあるまちづくりのため、地域資源の魅力を活かした都市再生整備計画を策定し、中心市街地の活性化を図る。		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>
松本駅を中心とした都市再生整備計画策定に向けた協議

<現状に対する認識>

<指標の達成状況>	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	エリア内歩行者交通量(6月第1日曜10~19)				
目標値					9339
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	1,857				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	1,857				
② 人件費(千円)	4,076	人工	人工	人工	人工
正規	4,076	0.53			
嘱託	0				
合計コスト①+②	5,933				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	景観形成事業費(屋外広告物条例の推進(許可事務業務))
-------	-----------------------------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	432	景観維持、保全の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	松本版総合戦略	⑥	コンパクトな都市と賑わいの創出

<予算上の位置付け>	
会計名	一般会計
予算中事業名	景観形成事業費

<事業の狙い>	事業計画年度	~
松本の良好な景観の保全や誘導を行うため		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>
景観の重要な構成要素である屋外広告物の適正表示と良好な景観形成への誘導を図るため、条例で必要な許可物件の許可事務を行うもの。 ・許可申請数 (H28実績 262件) ※申請数のため、目標設定は不適切

<現状に対する認識>
(Blank area for recognition)

<指標の達成状況>	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	歴史・伝統が感じられる松本らしい景観が保たれている(市民満足度)				
目標値					70%
実績値	3.15				
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	0				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源					
② 人件費(千円)	3,789	人工	人工	人工	人工
正規	3,076	0.4			
嘱託	713	0.25			
合計コスト①+②	3,789				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	景観形成事業費(屋外広告物条例の推進(条例周知・違反対応))
-------	--------------------------------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞			
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約			
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取組み				
基本施策(個別目標)	432	景観維持、保全の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり		
—	—	—	松本版総合戦略	⑥コンパクトな都市と賑わいの創出			

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	景観形成事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
松本の良好な景観の保全や誘導を行うため。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
景観の重要な構成要素である屋外広告物を適正に表示させるため、良好な景観形成への誘導を図るとともに、条例上違反となる広告物に必要な対応をし、改善を求めるもの。

＜現状に対する認識＞
違反件数が多く、解決には過剰な人手と時間、経費が必要

＜指標の達成状況＞	総合評価	C			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	歴史・伝統が感じられる松本らしい景観が保たれている(市民満足度)				
目標値					70%
実績値	3.15				
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	73					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	73					
② 人件費(千円)	3,922	人工	人工	人工	人工	人工
正規	3,922	0.51				
嘱託	0	0				
合計コスト①+②	3,995					
前年度比	—					

事務事業評価票

事務事業名	新市街地開発事業 (中小土地区画整理事業(補助金))
-------	-------------------------------

<予算上の位置付け>	
会計名	一般会計
予算中事業名	新市街地開発事業

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取り組み	
基本施策(個別目標)	331	調和した土地利用の推進		5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略	

<事業の狙い>	事業計画年度	S63~H33
土地区画整理法第3条第1項、第2項の施行者に対して、技術援助及び補助金の交付を行うことで、「健全な市街地の造成を図り、もって公共の福祉の増進に資する」ため		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

土地区画整理事業により、地区の特性を活かした住環境を整備し、健全な市街地の造成を図るため、条件を満たした区画整理組合に対して、技術援助及び補助金の交付を行う

H28年度の状況 (単位:千円)

地区名	ha	実施事業内容	事業費	市補助金
両島	3.1	区画造成工事に要する経費(補助率30%)	71,342	21,400
村井町南	5.0	埋文調査に要する経費(補助率60%)	6,400	3,840
		区画造成工事に要する経費(補助率30%)	45,600	13,680
惣社	2.9	埋文調査に要する経費(補助率60%)	17,540	10,520
		調査設計に要する経費(補助率100%)	55,210	55,210
岡田東	1.0	埋文調査に要する経費(補助率60%)	28,000	16,800
		調査設計に要する経費(補助率100%)	15,358	15,358
計	12.0		239,450	136,808

<現状に対する認識>

事業計画面積のうち、中止地区を除いて約9割が完了し、技術援助及び補助金交付についても見直しを行った。
 今後は施行中地区の早期完了を目指して、技術援助を行う。

<指標の達成状況>	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	組合施行事業整備面積(ha)				
目標値	221.6	221.6	224.7	232.7	233.2
実績値	221.6				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	143,320				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	143,320				
② 人件費(千円)	25,920	人工	人工	人工	人工
正規	23,070	3			
嘱託	2,850	1			
合計コスト①+②	169,240				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	景観形成事業費(景観計画の推進)
-------	------------------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>			
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約			
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取組み				
基本施策(個別目標)	432	景観維持、保全の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり		
—	—	—	松本版総合戦略	⑥コンパクトな都市と賑わいの創出			

<予算上の位置付け>	
会計名	一般会計
予算中事業名	景観形成事業費

<事業の狙い>	事業計画年度	～
松本の良好な景観の保全や誘導を行うため、景観計画に基づき事業を推進するもの。		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>
良好な景観形成を図るため、景観計画で定めた行為の制限事項について、必要な届け出の審査に係る事務・指導・助言を行い、景観計画の周知や内容の検討・研究をする。(景観審議会・評価会・調整 ・景観計画に基づく届出(H28実績 207件)

<現状に対する認識>
景観計画策定後10年が経過しようとしているが、計画にPDCAサイクルが含まれていないため、適切な見直しの設定が必要

<指標の達成状況>	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	歴史・伝統が感じられる松本らしい景観が保たれている(市民満足度)				
目標値					70%
実績値	3.15				
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	289					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	289					
② 人件費(千円)	6,460	人工	人工	人工	人工	人工
正規	6,460	0.84				
嘱託	0					
合計コスト①+②	6,749					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	景観形成事業費(松本市景観賞実施事業)
-------	---------------------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>			
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約			
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取組み				
基本施策(個別目標)	432	景観維持、保全の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり		
—	—	—	松本版総合戦略	⑥コンパクトな都市と賑わいの創出			

<予算上の位置付け>	
会計名	一般会計
予算中事業名	景観形成事業費

<事業の狙い>	事業計画年度	~
松本の良好な景観の保全や誘導を行うため。		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>
松本市景観賞実施事業 松本らしい優れた景観に寄与する建造物や活動を表彰し、シンポジウムなどで紹介することで良好な景観形成に対する市民意識の高揚を図る。 ・景観賞応募件数 (H28実績 20件)

<現状に対する認識>
事業開始後30年が経過しようとしており、新たな手法を検討している

<指標の達成状況>	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	歴史・伝統が感じられる松本らしい景観が保たれている(市民満足度)				
目標値					70%
実績値	3.15				
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>										
区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	820									
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	820									
② 人件費(千円)	3,614	人工		人工		人工		人工		人工
正規	3,614	0.47								
嘱託	0									
合計コスト①+②	4,434									
前年度比	—									

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	景観形成事業費(歴史まちづくり事業)
-------	--------------------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>			
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約			
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取り組み				
基本施策(個別目標)	432	景観維持、保全の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり		
—	—	—	松本版総合戦略	⑥コンパクトな都市と賑わいの創出			

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	景観形成事業費

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

松本城を中心とした城下町松本を維持向上し、良好な景観の保全や誘導を行う。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- ・歴史まちづくり事業

松本市歴史的風致維持向上計画に基づき、近代遺産の大切さを景観的視点から再確認し、将来に向けて保存活用することで、歴史的風致の維持向上を図り、城下町松本の再生を目指す。

- ・歴史的風致維持向上計画における進捗管理により把握

<現状に対する認識>

独自事業と計画進捗管理とで業務内容に大きな違いがある

<指標の達成状況>

		総合評価		B		
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	歴史・伝統が感じられる松本らしい景観が保たれている(市民満足度)					
	目標値					70%
	実績値	3.15				
	達成度					
② 成果指標(指標名)						
	目標値					
	実績値					
	達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	2,778				
	国・県				
	利用者負担金				
	その他				
	一般財源	2,778			
② 人件費(千円)	5,620	人工	人工	人工	人工
	正規	5,306	0.69		
	嘱託	314	0.11		
合計コスト①+②	8,398				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	景観形成事業費(公共案内サイン整備事業)
-------	----------------------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>			
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約			
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取組み				
基本施策(個別目標)	432	景観維持、保全の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり		
—	—	—	松本版総合戦略	⑥コンパクトな都市と賑わいの創出			

<予算上の位置付け>	
会計名	一般会計
予算中事業名	景観形成事業費

<事業の狙い>	事業計画年度	～
公共により市街地に案内サインを設置することで、観光客を含む来街者すべてにおもてなしの心を伝えるとともに。松本の良好な景観の保全や誘導を行う。		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>
<ul style="list-style-type: none"> ・公共案内サイン整備事業 多様な市民や来訪者が安心して目的地を目指せるようユニバーサルデザインに沿った案内サインへと改良し、回遊性を高め中心市街地の活性化を図るもの。 ・H28は庁内調整の上、施設の外国語表記について検討を行った。

<現状に対する認識>

<指標の達成状況>	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	歴史・伝統が感じられる松本らしい景観が保たれている(市民満足度)				
目標値					70%
実績値	3.15				
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	0					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	0					
② 人件費(千円)	911.5	人工	人工	人工	人工	人工
正規	769	0.1				
嘱託	142.5	0.05				
合計コスト①+②	912					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	市街地開発事業
-------	---------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	松本版総合戦略	⑥	コンパクトな都市と賑わいの創出

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	市街地開発事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

まつもとのまちを形成する核であり、市民共有の宝である松本城を保存し、城下町に暮らす市民の誇りを守り育て、「松本城を中心としたまちづくり」を通じた、品格のある街をめざします。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 歩いてみたい城下町整備事業
良好なまちなみ景観を創出するため、修景審査委員会を開催する際に、補助提出案件を審査、指導する。
- 整備路線(H28実績 L=100m)

＜現状に対する認識＞

計画期間の満了が近づいているが、実施が間に合わないと思われるため、計画延長又は2期計画の策定が必要

＜指標の達成状況＞

総合評価	C				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	「城下町まつもと」にふさわしいまちづくりが行われている(市民満足度)				
目標値					76%
実績値	2.94				
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	25,303									
国・県	12,385									
利用者負担金										
その他										
一般財源	12,918									
② 人件費(千円)	7,756	人工		人工		人工		人工		人工
正規	7,613	0.99								
嘱託	143	0.05								
合計コスト①+②	33,059									
前年度比	—									

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	市街地開発事業費(施設管理事業 (水めぐりの井戸管理事業))
-------	-----------------------------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	松本版総合戦略	⑥	コンパクトな都市と賑わいの創出

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	市街地開発事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
まつもとのまちを形成する核であり、市民共有の宝である松本城を保存し、城下町に暮らす市民の誇りを守り育て、「松本城を中心としたまちづくり」を通じた、品格のある街をめざします。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
<ul style="list-style-type: none"> 施設管理事業(中町蔵の会館、下町会館) 中心市街地のまちづくりのために整備した中町蔵の会館、下町会館はともに地元で指定管理をおこなっており、適切な施設管理を支援する。 施設管理事業(水めぐりの井戸整備事業) 市が整備した井戸を良好な状態に保つため維持簡易を実施する。 井戸維持管理箇所数(H28実績 12件)

＜現状に対する認識＞

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	「城下町まつもと」にふさわしいまちづくりが行われている(市民満足度)				
目標値					76%
実績値	2.94				
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞										
区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	5,920									
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	5,920									
② 人件費(千円)	5,529	人工		人工		人工		人工		人工
正規	4,076	0.53								
嘱託	1,454	0.51								
合計コスト①+②	11,449									
前年度比	—									

交通安全・都市交通課

課長 中島 英文

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	交通安全・都市交通課	課CD	08160000
-----	-----	----	------------	-----	----------

事務事業名	鉄道対策事業
-------	--------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	7 人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取組み	〇次世代交通政策の可視化・具現化
基本施策(個別目標)	334	交通のまちづくりの推進	5つの重点目標	4	暮しと生活の基盤づくり
—	—	—	松本版総合戦略	⑥	コンパクトな都市と賑わいの創出

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	鉄道対策事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	23 ~
上高地線整備費を補助することにより、地域、観光の足として欠かせない上高地線の存続に向けた整備を促進し、輸送力強化及び安全性を確保するもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 概要
アルピコ交通上高地線の老朽化した鉄道施設の大規模改修工事を実施するにあたり、国及び県と協調して補助事業者アルピコ交通株式会社へ整備費を補助するもの
2 事業の詳細
(1) 線路設備、踏切保安設備、電車線及び通信線の改修
(2) 電柱のコンクリート化
(3) 駅構内通路警報器更新
(4) レール及びマクラギの交換

＜現状に対する認識＞

協調補助事業であるが、国・県の予算確保が厳しくなっている。 上高地線大規模改修事業計画に基づき補助をしているが、計画期間が平成31年度までとなっており、平成32年度以降の補助のあり方を検討する必要がある。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	上高地線年間利用者数				
目標値	1,600,000	1,600,000	1,600,000	1,600,000	1,600,000
実績値	1,680,000				
達成度	105.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	39,585				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	39,585				
② 人件費(千円)	1,538	人工	人工	人工	人工
正規	1,538	0.2			
嘱託	0	0			
合計コスト①+②	41,123				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	交通安全・都市交通課	課CD	08160000
-----	-----	----	------------	-----	----------

事務事業名	交通対策事業
-------	--------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	7 人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取組み	〇次世代交通政策の可視化・具現化
基本施策(個別目標)	334	交通のまちづくりの推進		5つの重点目標	4 暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	⑥コンパクトな都市と賑わいの創出

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	交通対策事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
交通空白地域を解消し、効率的な交通手段を確保する。 公共交通利用者の拡大とノーマイカー運動を推進する。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 評価検証 松本市地域公共交通網形成計画に位置付けられた路線の評価・検証を行う。
2 地域主導型公共交通事業 地域住民組織が主体となって運行する公共交通に対し、運行経費を助成する。
3 ノーマイカー推進市民会議 持続可能な人と環境に優しいまちづくりのため、ノーマイカーデー運動を推進する。 毎年秋に行う松本ノーマイカーデーにおいて、トランジットモールを実施する。

＜現状に対する認識＞
西部地域コミュニティバスの利用者数は増加傾向にあるが、四賀・奈川地区の公共交通の利用者は減少傾向にある。 地域主導型公共交通事業を導入する地区が増加し、4路線が運行している。

＜指標の達成状況＞	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	16,299				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	16,299				
② 人件費(千円)	1,923	人工	人工	人工	人工
正規	1,923	0.25			
嘱託	0	0			
合計コスト①+②	18,222				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	交通安全・都市交通課	課CD	08160000
-----	-----	----	------------	-----	----------

事務事業名	バス対策事業
-------	--------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	バス対策事業費

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	7 人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取組み	○次世代交通政策の可視化・具現化
基本施策(個別目標)	334	交通のまちづくりの推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	松本版総合戦略	⑥	コンパクトな都市と賑わいの創出

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
交通空白地域を解消し、効率的な交通手段を確保する。 中心市街地の移動は徒歩、自転車、公共交通を優先する。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 バス待ち環境整備事業 バス停において、ベンチや屋根などのバス待ち環境の改善を図るとともに、バスの乗り降りしやすい環境を図る。
2 バス車両更新 西部地域コミュニティバス、市営バス、四賀地域バス、南部循環線の運行に必要なバス車両を更新する。
3 地域公共交通協議会への負担金 地域公共交通を維持・活性化し、利用を促進するため、松本市地域公共交通協議会の事業を支援する。
4 バス運行補助 西部地域コミュニティバス、四賀地域バス、南部循環線、四賀線、稲核線、アルプス公園線、空港・朝日線、内田線の運行を補助する。 市営バス四賀線及び奈川線を運営する。

＜現状に対する認識＞
近年、市内のバス利用者が微増傾向にある。 国の地域公共交通確保維持改善事業を活用しているが、毎年国庫補助額が減少している。

＜指標の達成状況＞	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	一日あたり公共交通利用者数(総合交通戦略成果指標B-1)				
目標値	25,000	25,200	25,500	25,700	25,900
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	国・県	41,754				
	利用者負担金	2,813				
	その他	1,949				
	一般財源	36,992				
② 人件費(千円)	正規	20,763	人工		人工	
	嘱託	0	0			
合計コスト①+②	62,517					
前年度比	—					

事務事業評価票

事務事業名	パークアンドライド推進事業 (JR平田駅)
-------	--------------------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	パークアンドライド推進事業費

部局名		課名		課CD	
-----	--	----	--	-----	--

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち	主な取組み			○地域公共交通の維持と利用促進
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進	5つの重点目標	4	暮しと生活の基盤づくり	
—	—	—	松本版総合戦略	⑥	コンパクトな都市と賑わいの創出	

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
車優先社会からの転換を図り、公共交通の利用促進を図る。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
平田駅のパークアンドライド駐車場については、駅前という好立地もあり、順調である。 しかし、利用率がおおむね80%を超えると、満車時間が長くなり、駐車したくても使えないという状態が発生してくる。

＜現状に対する認識＞
駐車できない事に対する具体的な苦情はないが、拡大について検討が必要である。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	施設稼働80%の利用台数(133台×365日×0.85)				
目標値	41263	41263	41263	41263	41263
実績値	43720				
達成度	106.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)		-4,466				
国・県						
利用者負担金		-10,455				
その他						
一般財源		5,989				
② 人件費(千円)	1,154	人工	人工	人工	人工	人工
正規	1,154	0.15				
嘱託	0					
合計コスト①+②		-3,313				
前年度比		—				

事務事業評価票

事務事業名	パークアンドライド推進事業 (アルピコ交通新村駅)
-------	------------------------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	パークアンドライド推進事業費

部局名		課名		課CD	
-----	--	----	--	-----	--

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち	主な取組み			○地域公共交通の維持と利用促進
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進	5つの重点目標	4	暮しと生活の基盤づくり	
—	—	—	松本版総合戦略	⑥	コンパクトな都市と賑わいの創出	

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
車優先社会からの転換を図り、公共交通の利用促進を図る。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
駐車台数50台に対し、定期利用優先枠の設定があったため、優先枠の縮小等について要請した。 実績としては、前年より減少した。

＜現状に対する認識＞
駐車できない事に対する具体的な苦情はないが、拡大について検討が必要である。

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	施設稼働80%の利用台数(50台×365日×0.6)				
目標値	10,950	10,950	10,950	10,950	10,950
実績値	7,940				
達成度	72.5%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値	2278				
達成度	0.0%				

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	252					
国・県						
利用者負担金	0					
その他						
一般財源	252					
② 人件費(千円)	0	人工	人工	人工	人工	人工
正規	0	0				
嘱託	0					
合計コスト①+②	252					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	課名	課CD
-----	----	-----

事務事業名	パークアンドライド推進事業 (志賀支所・七嵐)
-------	----------------------------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>	
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	7 人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち	主な取組み		○地域公共交通の維持と利用促進
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	松本版総合戦略	⑥	コンパクトな都市と賑わいの創出

<予算上の位置付け>	
会計名	一般会計
予算中事業名	パークアンドライド推進事業費

<事業の狙い>	事業計画年度	～
車優先社会からの転換を図り、公共交通の利用促進を図る。		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>
志賀地区のパークアンドライド駐車場は、入庫・出庫管理ができないため、数値評価ができない

<現状に対する認識>
四賀地区の場合は、評価はできないが、市バスの利用増につなげたい

<指標の達成状況>	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	市バス路線数(平日9便、土日2便)				
目標値	11	11	11	11	11
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)	H26実績(一般)				
目標値					
実績値	2278				
達成度					

<コスト一覧>					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	0				
国・県					
利用者負担金	0				
その他					
一般財源	0				
② 人件費(千円)	1,154	人工	人工	人工	人工
正規	1,154	0.15			
嘱託	0				
合計コスト①+②	1,154				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	交通安全・都市交通課	課CD	08160000
-----	-----	----	------------	-----	----------

事務事業名	総合交通戦略推進事業
-------	------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	7 人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取組み	〇次世代交通政策の可視化・具現化
基本施策(個別目標)	334	交通のまちづくりの推進		5つの重点目標	4 暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	⑥コンパクトな都市と賑わいの創出

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	総合交通戦略推進事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	21～
松本市総合交通戦略に位置付けられた個別の事業を進捗管理するもの 平成27年10月策定の松本市次世代交通政策実行計画(松本市総合交通戦略)に位置付けられた個別事業について、事務事業を設定し、推進委員会にて各事業の進行管理、進捗状況の報告検証を行う		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 推進委員会開催目標2回は達成できなかった。
2 松本市次世代交通政策実行計画(松本市総合交通戦略)冊子を印刷、配布したことにより、事業が明確化できた。
3 中心市街地の活性化や、回遊を促進するための課題整理のための課題研究業委託を行い、報告を受けた コミュニティサイクルの導入検討 小規模自転車駐車場配置、

＜現状に対する認識＞

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	推進委員会開催回数				
目標値	2	1	1	1	1
実績値	0				
達成度	0.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	2,818				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	2,818				
② 人件費(千円)	9,228	人工	人工	人工	人工
正規	9,228	1.2			
嘱託	0				
合計コスト①+②	12,046				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	課名	課CD
-----	----	-----

事務事業名	交通安全対策
-------	--------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	7 人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取組み	○地域公共交通の維持と利用促進
基本施策(個別目標)	333	交通安全対策の充実	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	松本版総合戦略	⑥	コンパクトな都市と賑わいの創出

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	交通安全対策費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
交通安全運動を市民活動として展開することを、関係団体に補助等を行うことで、団体の運営を助け、市民への啓発活動を充実する。 また、幼稚園、保育所から高校に至るまでの児童生徒に対し適時適切な安全教室等を学校等と連携しながら実施し、日常の交通安全を図る		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 交通安全教室
(1) 幼稚園、保育園児童に対する交通安全教室の実施
(2) 小学4年生への、自転車運転免許証の交付
(3) 高校生には、スクエアドストレート(交通安全教室)実施
(4) 福祉ひろば、公民館、社会福祉協議会等に対しても、要望により随時教室実施
2 啓発活動
新小学1年生に啓発物品の贈呈(ランドセルカバー)
啓発用物品購入
市職員、警察、県地域振興局、市民団体協働の街頭啓発活動
3 市民団体に対する活動支援
負担金、補助金を通じた支援、事務支援を通じた支援
(1) 松本市交通安全市民運動推進会議
(2) 交通安全協会
(3) 松本市交通安全母の会

＜現状に対する認識＞

幼保、小学校、高校の各児童生徒に対する教育活動は行っているが、中学生に対しては、具体的な活動を行っていないので、スクエアドストレートの充実等、検討の必要がある。
--

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	9,318				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	9,318				
② 人件費(千円)	21,080	人工	人工	人工	人工
正規	15,380	2			
嘱託	5,700	2			
合計コスト①+②	30,398				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	交通安全・都市交通課	課CD	08160000
-----	-----	----	------------	-----	----------

事務事業名	自転車安全利用対策
-------	-----------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	
予算中事業名	自転車安全利用対策費

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	7 人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取組み	○次世代交通政策の可視化・具現化
基本施策(個別目標)	334	交通のまちづくりの推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	松本版総合戦略	⑧	成熟型社会の都市基盤づくり

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
自転車の有効活用により、市街地に流入する自動車の絶対数を抑制し、交通渋滞の解消、市街地の賑わいをうながす。 また、自転車をより効率的に活用するため、自転車駐車を整備し、提供する一方、ルールから外れる放置自転車は、撤去する		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 自転車駐車場管理(有料) (1) 松本駅北中自転車駐車場 (2) お城口広場自転車駐車場 (3) アルプス口自転車駐車場 (4) 村井駅自転車駐車場 2 自転車駐車場管理(無料) (1) 中条自転車駐車場 (工事のため休止中) (2) 南松本駅自転車駐車場(屋根設置を計画) (3) 島内駅自転車駐車場 (4) 島高松駅自転車駐車場 (5) 平田駅前広場自転車駐車場(東駐車場、西駐車場) (6) 北松本駅自転車駐車場 3 放置自転車対策 放置整理区域内において、定期的に警告と撤去を行い、撤去する。

＜現状に対する認識＞
南松本自転車駐輪場においては、雪で破損し撤去した屋根を再接地の予定中心市街地には、比較的小規模な自転車駐車場新設の要望に対して、検討の必要がある。 次世代交通政策推進の観点からも、自転車の利活用は重要である。

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	有料(4カ所)自転車駐車場利用率				
目標値	100	100	100	100	100
実績値	83.5				
達成度	83.5%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	79,640				
国・県					
利用者負担金	35,883				
その他					
一般財源	43,757				
② 人件費(千円)	19,225	人工	人工	人工	人工
正規	19,225	2.5			
嘱託	0				
合計コスト①+②	98,865				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	交通安全・都市交通課	課CD	08160000
-----	-----	----	------------	-----	----------

事務事業名	歩行空間あんしん事業
-------	------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	7 人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取組み	○生活道路の改善や親子が集う公園の整備
基本施策(個別目標)	333	交通安全対策の充実	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	⑥コンパクトな都市と賑わいの創出

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	歩行空間あんしん事業

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H19～H33
波打ち歩道の改修を中心に、市民生活に直結した道路環境の整備を図り、快適で歩きやすい歩行空間を確保する		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
波打ち歩道の改修を中心に、側溝蓋掛け、カラー舗装、点字ブロック設置等を実施し、市民生活に直結した道路環境の整備を図る。

＜現状に対する認識＞
当初計画では、概ね15年間で事業を完了する予定だったが、現状の事業費では計画期間内に改修することができない。

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	波打ち歩道の改修率				
目標値	49.0%	54.3%	59.6%	65.0%	71.0%
実績値	48.5%				
達成度	99.0%				
② 成果指標(指標名)	交通事故発生件数(人身)				
目標値	1,504	1,501	1,497	1,493	1,490
実績値	1,512				
達成度	100.5%				

＜コスト一覧＞					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	79,045				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	79,045				
② 人件費(千円)	15,380	人工	人工	人工	人工
正規	15,380	2			
嘱託	0				
合計コスト①+②	94,425				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	交通安全・都市交通課	課CD	08160000
-----	-----	----	------------	-----	----------

事務事業名	交通安全対策事業 (交差点改良事業)
-------	-----------------------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	主な取組み			○生活道路の改善や親子が集う公園の整備
基本施策(個別目標)	333	交通安全対策の充実	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり	
—	—	—	松本版総合戦略	⑥	コンパクトな都市と賑わいの創出	

<予算上の位置付け>	
会計名	一般会計
予算中事業名	交通安全対策事業費

<事業の狙い>	事業計画年度	H26~H31
事故の防止と交通の円滑化を図る。		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>
道路形状等により、危険性の高い交差点を改良する。

<現状に対する認識>
県事業関連のため、県実施の主要地方道松本和田線改良工事に合わせての実施となる。(県道側の用地交渉が遅れている) また、交付金による事業であるが、近年、国からの交付金配分が少なく厳しい状況となっている。

<指標の達成状況>	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	進捗率				
目標値	20.6%	20.6%	91.6%	100.0%	
実績値	4.4%				
達成度	21.4%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	843					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	843					
② 人件費(千円)	769	人工	人工	人工	人工	人工
正規	769	0.1				
嘱託	0					
合計コスト①+②	1,612					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	交通安全・都市交通課	課CD	08160000
-----	-----	----	------------	-----	----------

事務事業名	単独交通安全施設等整備事業
-------	---------------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞	
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	7 人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	主な取組み		○生活道路の改善や親子が集う公園の整備
基本施策(個別目標)	333	交通安全対策の充実	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
—	—	—	松本版総合戦略	⑥	コンパクトな都市と賑わいの創出

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	単独交通安全施設等整備事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	
事故防止及び通行空間の確保を図る。	

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

交通安全施設(区画線、路面標示、防護柵、道路反射鏡、道路標識)の整備及び側溝への蓋掛け等を行い、交通の安全を図る。

＜現状に対する認識＞

各地区からの要望は、多種多様であり件数も多いため、すべての要望には対処できていない。
--

＜指標の達成状況＞

		総合評価				
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					
② 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	58,653				
	国・県				
	利用者負担金				
	その他				
一般財源	58,653				
② 人件費(千円)	11,535	人工	人工	人工	人工
	11,535	1.5			
	0				
合計コスト①+②	70,188				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	交通安全・都市交通課	課CD	08160000
-----	-----	----	------------	-----	----------

事務事業名	単独交通安全施設等整備事業 (自転車ネットワーク整備事業)
-------	----------------------------------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>	
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	7 人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	主な取組み		○生活道路の改善や親子が集う公園の整備
基本施策(個別目標)	333	交通安全対策の充実	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
—	—	—	松本版総合戦略	⑥	コンパクトな都市と賑わいの創出

<予算上の位置付け>	
会計名	一般会計
予算中事業名	単独交通安全施設等整備事業

<事業の狙い>	事業計画年度	H18~H33
自転車関連の事故防止を図る。		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>
自転車レーン等の自転車通行空間ネットワークの整備を行うことにより、自転車関連事故の防止を図るとともに、自転車通行環境の向上を図る。

<現状に対する認識>
自転車利用環境の総合的な計画に基づき、計画的に整備する必要がある。

<指標の達成状況>	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	整備率				
目標値	56.6%	56.6%	63.6%	73.0%	87.6%
実績値	56.6%				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	3,150				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	3,150				
② 人件費(千円)	769	人工	人工	人工	人工
正規	769	0.1			
嘱託	0				
合計コスト①+②	3,919				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	交通安全・都市交通課	課CD	08160000
-----	-----	----	------------	-----	----------

事務事業名	単独交通安全施設等整備事業 (生活ゾーン交通安全対策事業)
-------	----------------------------------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>	
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	7 人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	主な取組み		○生活道路の改善や親子が集う公園の整備
基本施策(個別目標)	333	交通安全対策の充実	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
—	—	—	松本版総合戦略	⑥	コンパクトな都市と賑わいの創出

<予算上の位置付け>	
会計名	一般会計
予算中事業名	単独交通安全施設等整備事業

<事業の狙い>	事業計画年度	H24～
事故防止と静かな生活環境を確保する。		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>
生活道路及びゾーン30やスクールゾーン区域内を通過する車両の交通量とスピードを抑制する対策を実施する。

<現状に対する認識>
面的に速度規制を行うゾーン30の関心が高まってきているため、設定地区の増加の可能性がある。

<指標の達成状況>	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>										
区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	10,000									
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	10,000									
② 人件費(千円)	2,307	人工		人工		人工		人工		人工
正規	2,307	0.3								
嘱託	0									
合計コスト①+②	12,307									
前年度比	—									

建設課

課長 百瀬 信

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	道路改良事業(社会資本)
-------	--------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	7 人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	33	住みやすさを感じるまち		主な取組み	○生活道路の改善や親子が集う公園の整備
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	道路改良事業費(社会資本)

＜事業の狙い＞

事業計画年度	21～33
--------	-------

市道7003号線を改良することにより、中環状線の2車線化を推進し、市街地と郊外との連絡性の向上を図るとともに、利用する市民の利便性と安全・安心を確保する。
また、中環状線と接続する南北幹線である市道5005号線を整備する。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

国の交付金を活用した幹線道路整備事業として、中環状線である市道7003号線を整備、及び、それに関連する南北幹線、市道5005号線の整備

市道7003号線(島立).....(用地補償等 C=119,399千円)
 事業年度 H21～H32
 事業量 L=1,040m W=15.0m
 総事業費 C=1251,780千円

市道5005号線(笹部4丁目)
 事業年度 H26～H33
 事業量 L=420m W=11.0m
 総事業費 C=660,430千円

＜現状に対する認識＞

近年、交付金の配分が減少し、財源確保が厳しい状況が続いており、今後の事業の遅延が懸念される。

＜指標の達成状況＞

		総合評価		B		
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	周辺道路の交通渋滞の解消及び歩行者の安全確保(事業費ベースでの進捗率)					
	目標値	11%	11%	11%	11%	11%
	実績値	14%				
	達成度	123.4%				
② 成果指標(指標名)						
	目標値					
	実績値					
	達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
① 事業費(千円)	119,399					
	国・県	65,670				
	利用者負担金					
	その他					
	一般財源	53,729				
② 人件費(千円)	5,768	人工		人工		人工
	正規	5,768	0.75			
	嘱託	0				
合計コスト①+②	125,167					
前年度比	—					

事務事業評価票

事務事業名	道路改良事業(防災安全)
-------	--------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	道路改良事業費(防災安全)

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	7 人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	33	住みやすさを感じるまち		主な取組み	○生活道路の改善や親子が集う公園の整備
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜事業の狙い＞	事業計画年度	21～32
新たな歩道設置を含め道路整備を行うことで、利用する市民の利便性と安全・安心を確保する。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
国の交付金を活用した主要道路の歩行者の完全性確保のため、新たな歩道設置を含め2車線の道路整備 市道2522号線(巾上).....(工事(L=43m)、用地補償 C=38,570千円) 事業年度 H22～H29 事業量 L=43m W=10.0m 総事業費 C=195,000千円 市道波田98号線(波田(森口)).....(工事(L=340m)等 C=29,810千円) 事業年度 H20～H32 事業量 L=2,037m W=9.5m 総事業費 C=774,540千円 市道5520号線(渚2丁目) 事業年度 H24～H32 事業量 L=160m W=9.5m 総事業費 C=158,590千円 市道2181号線(浅間温泉2丁目) 事業年度 H28～H32 事業量 L=320m W=9.5m 総事業費 C=290,690千円

＜現状に対する認識＞
近年、交付金の配分が減少し、財源確保が厳しい状況が続いており、今後の事業遅延が懸念させる。

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	周辺道路の交通渋滞の解消及び歩行者の安全確保(事業費ベースでの進捗率)				
目標値	36%	36%	36%	36%	36%
実績値	39%				
達成度	111.1%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	国・県	68,378				
	利用者負担金	37,600				
	その他	30,700				
	一般財源	78				
② 人件費(千円)	正規	13,073	人工		人工	
	嘱託	0	1.7			
合計コスト①+②	81,451					
前年度比	—					

事務事業評価票

事務事業名	過疎対策事業
-------	--------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	過疎対策事業費

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	7 人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	33	住みやすさを感じるまち		主な取組み	○生活道路の改善や親子が集う公園の整備
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜事業の狙い＞	事業計画年度	28～35
過疎対策地域の地元町会から拡幅要望のある市道を拡幅改良することにより、緊急車両が通行可能な安全・安心な生活環境を確保する。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

四賀地区(過疎対策地域)の道路整備	
市道下原線(板場).....(委託(測量設計等) C=3,040千円)	
事業年度	H28～H31
事業量	L=210m W=4.0m
総事業費	C=36,750千円
市道下小瀬農協線(赤怒田)	
事業年度	H30～H35
事業量	L=400m W=4.0m
総事業費	C=116,400千円
市道向原線(反町)	
事業年度	H30～H34
事業量	L=270m W=4.0m
総事業費	C=48,300千円
市道長越1・2号線(長越)	
事業年度	H30～H35
事業量	L=230m W=4.0m
総事業費	C=45,400千円

＜現状に対する認識＞

地元調整及び関係機関との協議

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	緊急車両がスムーズに通行出来る様に整備(事業費ベースでの進捗率)				
目標値	1.4%	1%	1%	1%	1%
実績値	1.2%				
達成度	85.7%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	3,044				
国・県					
利用者負担金					
その他	3,044				
一般財源					
② 人件費(千円)	1,538	人工	人工	人工	人工
正規	1,538	0.2			
嘱託	0				
合計コスト①+②	4,582				
前年度比	—				

事務事業評価票

事務事業名	単独新設改良事業
-------	----------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	単独新設改良事業

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	7 人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	33	住みやすさを感じるまち		主な取組み	○生活道路の改善や親子が集う公園の整備
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜事業の狙い＞	事業計画年度	S62 ~ 35
生活道路を改良することにより、主に地元町会の利用する市民等の安全・安心な生活環境を確保する。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
地元要望のある生活道路を主に、道路整備(46路線) H28実施 工事、用地補償、委託等 21路線 C=175,252千円 整備延長 6路線 L=742m 全体計画 他事業関連 4路線 中部縦貫自動車道関連(10箇所～) 国道19号関連 2路線 空港関連 4路線 生活道路一般 29路線……………(16路線) 交付金事業単独分 6路線……………(3路線)

＜現状に対する認識＞
地元調整及び関係機関との協議

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	整備された生活道路の割合				
目標値	37.7%	40%	48%	56%	63%
実績値	37.7%				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	175,252					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	175,252					
② 人件費(千円)	48,434	人工	人工	人工	人工	人工
正規	47,294	6.15				
嘱託	1,140	0.4				
合計コスト①+②	223,686					
前年度比	—					

事務事業評価票

事務事業名	単独橋りょう整備事業
-------	------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	単独橋りょう整備事業

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	7 人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	33	住みやすさを感じるまち		主な取組み	○生活道路の改善や親子が集う公園の整備
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜事業の狙い＞	事業計画年度	20～37
橋りょうの架け替え・補修工事を行うことにより、通行車両等の安全性を高める。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
老朽化した橋りょうの架け替え・補修工事及び、地元要望のある生活道路の橋梁整備 市道7553号線 月見橋(笹部～島立) 事業年度 H26～H31 事業量 L=160m W=12.0m 総事業費 C=1,860,100千円(内詳細設計分) 市道5520号線 渚橋(渚2丁目)……………(県施工事務費負担金 C=10,483千円) 事業年度 H25～H29 事業量 L=49m W=10.25m 総事業費 C=422,070千円(内県施工事務費負担金分) 橋梁長寿命化事業 事業年度 H20～ 事業量 477橋 総事業費 C=2,318,100千円(内事業調整分) 橋梁架替事業 事業年度 H32～ 事業量 2橋 総事業費 C=120,000千円(内予備設計分) 市道3123号線 連岳橋 内田 事業年度 H30～H31 事業量 L=10m W=6.0m 総事業費 C=41,000千円

＜現状に対する認識＞
地元調整及び関係機関との協議
成果指標については、平成28年度から継続実施している、主体事業の橋りょう長寿命化事業(防災安全)と共通とする。

＜指標の達成状況＞	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	長期的コストの縮減、安全・安心の確保(橋梁長寿命化修繕完了橋梁数)				
目標値	14	23	35	-	-
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	10,483					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	10,483					
② 人件費(千円)	0	人工	人工	人工	人工	人工
正規	0					
嘱託	0					
合計コスト①+②	10,483					
前年度比	-					

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	交通安全対策事業(防災安全)
-------	----------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	7 人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	33	住みやすさを感じるまち		主な取組み	○生活道路の改善や親子が集う公園の整備
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	交通安全対策事業(防災安全)

＜事業の狙い＞	事業計画年度	25～29
新たな歩道設置を含め橋梁整備を行うことで、利用する市民等の安全・安心な通行を確保する。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
一級河川田川の奈良井川改良事務所による河川改修計画に合わせた、関連する渚橋(市道5520号線)の整備
市道5520号線 渚橋(渚2丁目)……………(県施工工事負担金 C=100,300千円)
事業年度 H25～H29
事業量 L=49m W=10.25m
総事業費 C=422,070千円

＜現状に対する認識＞
近年、国からの交付金の配分が少なく、事業費の確保が厳しい状況となっている。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	長期的コストの縮減、安全・安心の確保(事業費ベースでの進捗率)				
目標値	89%	100%			
実績値	89%				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	100,300				
国・県	55,150				
利用者負担金					
その他					
一般財源	45,150				
② 人件費(千円)	769	人工	人工	人工	人工
正規	769	0.1			
嘱託	0				
合計コスト①+②	101,069				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	橋りょう長寿命化事業(防災安全)
-------	------------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	7 人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	33	住みやすさを感じるまち		主な取組み	○生活道路の改善や親子が集う公園の整備
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	橋りょう長寿命化事業(防災安全)

＜事業の狙い＞

事業計画年度	20～
--------	-----

橋りょうの長寿命化を図ることにより、将来の架替え時期を分散させ、事業費の平準化を図る。
補修工事を行うことにより、通行車両等の安全性を高める。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

国の交付金を活用し、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、老朽化した橋りょうの計画的な長寿命化修繕を実施、及び、更新の必要な橋りょうの架替え

橋梁長寿命化事業……(補修工事5橋 補修設計6橋 C=144,007千円)
事業年度 H20～
事業量 477橋
総事業費 C=2,318,100千円

橋梁架替事業
事業年度 H32～
事業量 2橋
総事業費 C=120,000千円

＜現状に対する認識＞

近年、国からの交付金の配分が少なく、財源の確保が厳しい状況となっており、今後の事業の遅延が懸念される。

橋梁長寿命化修繕計画は、平成30年度に見直すこととなっているため、成果指標は平成30年度までとする。

＜指標の達成状況＞

	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	長期的コストの縮減、安全・安心の確保(橋梁長寿命化修繕完了橋梁数)				
目標値	14	23	35	-	-
実績値	14				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	144,007				
国・県	79,010				
利用者負担金					
その他					
一般財源	64,997				
② 人件費(千円)	22,473	人工	人工	人工	人工
正規	20,763	2.7			
嘱託	1,710	0.6			
合計コスト①+②	166,480				
前年度比	-				

事務事業評価票

事務事業名	単独河川改良事業
-------	----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	単独河川改良事業費

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	—		松本版総合戦略

<事業の狙い>

事業計画年度	H6~
--------	-----

市内を流れる河川の排水系列別の整備を進め、円滑な治水・排水により市民生活の安全性を確保するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

都市化による雨水流出量の増加に対する断面確保や老朽化等による二次改良が必要な河川の整備

山田川……………(工事 L=63.9m C=8,683千円)
 西大門沢……………(工事測量・設計 1式)
 赤松沢……………(工事 C=9,396千円、用地測量・用地 1式)
 藤井沢……………(工事 L=53.1m C=5,962千円)
 会田川支流……………(工事 L=6.0m C=127千円)
 中山沢……………(工事 L=40.0m C=972千円)
 他……………(工事)

河川現況調査(河川水路台帳修正) 1式 C=2,225千円
 仮設排水ポンプ設置 1式 C=4,230千円

<現状に対する認識>

近年の集中豪雨や都市化による降雨時の出水量の増加により、溢水、浸水被害が発生している。

河川状況及び地元要望により実施しているため、目標値の設定は不適当

河川状況及び地元要望により実施しているため、目標値の設定は不適当

<指標の達成状況>

		総合評価		B				
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
① 成果指標(指標名)	目標値							
	実績値							
	達成度							
② 成果指標(指標名)	目標値							
	実績値							
	達成度							

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	国・県				
	利用者負担金				
	その他				
	一般財源	53,171			
② 人件費(千円)	人工	6,921			
	正規	6,921	0.9		
	嘱託	0			
合計コスト①+②	60,092				
前年度比	—				

事務事業評価票

事務事業名	単独水路改修事業
-------	----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	単独水路改修事業費

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち	主な取り組み		
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	—		松本版総合戦略

<事業の狙い>

事業計画年度	H6~
--------	-----

市内を流れる水路の水系別、排水系列別の整備を進め、円滑な治水・排水により市民生活の安全性を確保するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

都市化による雨水流出量の増加に対する断面確保や老朽化等による二次改良が必要な水路の整備

- 井上水路.....(工事 L=73.8m C=3,942千円)
- 村井西水路.....(工事 L=153.4m C=5,778千円、補償 1式)
- 青島地区水路.....(工事 L=78.0m C=3,996千円)
- 並柳地区水路.....(工事 L=75.0m C=11,491千円、補償 1式)
- 緑町水路.....(工事測量 1式)
- 横田運動公園水路.....(工事測量・設計 1式)
- 荒町南水路.....(工事 L=36.0m C=778千円)
- 蟻ヶ崎地区水路.....(工事 L=83.0m C=6,480千円)
- 南栗南水路.....(工事 L=26.0m C=540千円)
- 他.....(工事)

<現状に対する認識>

近年の集中豪雨や都市化による降雨時の出水量の増加により、溢水、浸水被害が発生している。

水路状況及び地元要望により実施しているため、目標値の設定は不適當

<指標の達成状況>

		総合評価				
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					
② 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	47,325				
	国・県				
	利用者負担金				
	その他				
一般財源	47,325				
② 人件費(千円)	7,690	人工		人工	
	7,690	1			
	0				
合計コスト①+②	55,015				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	単独雨水渠新設改良事業
-------	-------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	3 地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち		主な取組み	○震災や噴火などの災害に備えた国土強靱化
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	単独雨水渠新設改良事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	H18～H37
--------	---------

都市化による雨水流出量の増加に対し、放流の分散化を図り、都市浸水被害を防止するため雨水渠の整備を進めるもの

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

雨水渠及び雨水貯留施設の整備

松本市公共下水道事業計画変更
寿第五雨水幹線(兼用側溝整備負担)

＜現状に対する認識＞

近年の集中豪雨や都市化による降雨時の出水量の増加により、溢水、浸水被害が発生している。

雨水渠改良事業の単独分であるため、成果指標については雨水渠改良事業と同一とする。

＜指標の達成状況＞

総合評価		B				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
① 成果指標(指標名)	雨水渠整備率(整備面積/計画面積)					
目標値	19.3%	19.7%	19.7%	19.7%	22.5%	
実績値	19.3%					
達成度	100.0%					
② 成果指標(指標名)						
目標値						
実績値						
達成度						

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	7,089				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	7,089				
② 人件費(千円)	769	人工	人工	人工	人工
正規	769	0.1			
嘱託	0				
合計コスト①+②	7,858				
前年度比	—				

事務事業評価票

事務事業名	雨水渠改良事業
-------	---------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	雨水渠改良事業費

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	3 地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち		主な取組み	○震災や噴火などの災害に備えた国土強靱化
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H18～H37
都市化による雨水流出量の増加に対し、放流の分散化を図り、都市浸水被害を防止するため雨水渠の整備を進めるもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
雨水渠及び雨水貯留施設の整備
並柳第一雨水幹線……………(詳細設計 1式)
県第一雨水幹線……………(工事 L=710.0m C=142,637千円、補償 1式、 詳細設計 1式)
田川第一雨水幹線……………(詳細設計 1式)
信大南雨水貯留管……………(舗装本復旧 A=600㎡ C=7,380千円)
筑摩雨水幹線……………(基本計画見直し 1式)
丸の内排水区雨水管……………(基本計画見直し 1式)

＜現状に対する認識＞
近年の集中豪雨や都市化による降雨時の出水量の増加により、溢水、浸水被害が発生している。

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	雨水渠整備率(整備面積/計画面積)				
目標値	19.3%	19.7%	19.7%	19.7%	22.5%
実績値	19.3%				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	423,135					
国・県	211,549					
利用者負担金						
その他	195,100					
一般財源	16,486					
② 人件費(千円)	24,608	人工	人工	人工	人工	
正規	24,608	3.2				
嘱託	0					
合計コスト①+②	447,743					
前年度比	—					

事務事業評価票

事務事業名	河川防災ステーション整備事業
-------	----------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	河川防災ステーション整備事業費

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	—		松本版総合戦略

<事業の狙い>

事業計画年度	H28~H28
--------	---------

地域の人々のレクリエーションの場として活用できるよう、環境側帯の整備を行うもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

「河川防災ステーション」の一部である環境側帯の公園整備
 環境側帯整備(芝生化、ベンチ・植栽設置 A=5,500㎡)

<現状に対する認識>

非常時の水防活動の拠点となる「河川防災ステーション」の一部として環境側帯を整備したものであるため、目標値の設定は不適當

<指標の達成状況>

		総合評価				
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					
② 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	12,596				
	国・県				
	利用者負担金				
	その他				
一般財源	12,596				
② 人件費(千円)	769	人工	人工	人工	人工
	769	0.1			
	0				
嘱託					
合計コスト①+②	13,365				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	街路事業費(防災安全)
-------	-------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	7 人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取組み	○生活道路の改善や親子が集う公園の整備
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	街路事業費(防災安全)

＜事業の狙い＞	事業計画年度	22 ~ 43
---------	--------	---------

交通の円滑化と通過交通の分散を図り、安全、安心な道路環境を確保するため、道路整備5箇年計画に基づき、幹線道路整備を推進する。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

都市計画道路の整備

1 継続事業

(1) 小池平田線(庄内).....(用地補償等 C= 69,430千円)
 事業年度 H25～H31
 事業量 L=253.0m W=18.0m
 総事業費 739,000千円

(2) 中条白板線(巾上).....(用地補償等 C=164,930千円)
 事業年度 H25～H31
 事業量 L=265.0m W=18.0m
 総事業費 1,206,950千円

(3) 南松本駅石芝線(西工区)....(用地補償等 C= 21,320千円)
 事業年度 H26～H32
 事業量 L=180.0m W=12.0m
 総事業費 512,880千円

(4) 中条白板線(白板).....(地元調整)
 事業年度 H28～H35
 事業量 L=120.0m W=18.0m
 総事業費 1,329,750千円

2 新規事業

(1) 出川浅間線(薄川～惣社)....(地元調整)

(2) 小池平田線(逢初).....(地元調整)

＜現状に対する認識＞

事業化までに期間を要し、着手後も事業費の確保等早期完了が厳しい状況である。

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	幹線道路の整備割合				
目標値	75.5	76	76.6	77.1	77.6
実績値	74.8				
達成度	99.1%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	255,679				
国・県	140,599				
利用者負担金					
その他	93,100				
一般財源	21,980				
② 人件費(千円)	48,832	人工	人工	人工	人工
正規	48,832	6.35			
嘱託	0				
合計コスト①+②	304,511				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	単独街路事業
-------	--------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	7 人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取組み	○生活道路の改善や親子が集う公園の整備
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	単独街路事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	22 ~ 43
---------	--------	---------

交通の円滑化と通過交通の分散を図り、安全、安心な道路環境を確保するため、道路整備5箇年計画に基づき、幹線道路整備を推進する。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

都市計画道路の整備

1 継続事業

(1) 小池平田線(庄内).....(不動産鑑定、委託料等 C=1,730千円)
 事業年度 H25~H31
 事業量 L=253.0m W=18.0m
 総事業費 739,000千円

(2) 中条白板線(巾上).....(不動産鑑定、委託料等 C=3,188千円)
 事業年度 H25~H31
 事業量 L=265.0m W=18.0m
 総事業費 1,206,950千円

(3) 南松本駅石芝線(西工区)....(不動産鑑定 C=86千円)
 事業年度 H26~H32
 事業量 L=180.0m W=12.0m
 総事業費 512,880千円

(4) 中条白板線(白板).....(土質調査委託料 C=3,564千円)
 事業年度 H28~H35
 事業量 L=120.0m W=18.0m
 総事業費 1,329,750千円

(5) 都市計画道路事業用地保全・・(工事請負費 C=2,048千円)

2 新規事業
 出川浅間線(薄川~惣社)、小池平田線(逢初).....(地元調整)

＜現状に対する認識＞

単独街路事業は、街路事業を補完するもので、一体的なものであるため、事業の狙い、内容、成果指標等、両事業は共通である。

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	幹線道路の整備割合				
目標値	75.5	76	76.6	77.1	77.6
実績値	74.8				
達成度	99.1%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	10,616				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	10,616				
② 人件費(千円)	1,154	人工	人工	人工	人工
正規	1,154	0.15			
嘱託	0				
合計コスト①+②	11,770				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	受託工事
-------	------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>	
まちづくりの基本目標				市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)				主な取組み	
基本施策(個別目標)				5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>	
会計名	
予算中事業名	

<事業の狙い>	事業計画年度	～
市施設の改築事業等に伴う土木系工事において、所管する課に技術系職員がいない場合、効率的に事業を完了させるため、建設課が工事を取りまとめ実施をする。		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>
各課より依頼のある土木事業の調整と工事等の積算及び監理
四賀運動広場改修造成工事(スポーツ推進課)
いがやレクリエーションランド改修事業(スポーツ推進課)
中条保育園造成工事(こども育成課)
他51事業

<現状に対する認識>
建設課所管事業でないため、位置付け・指標・事業費については該当しない。

<指標の達成状況>	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	0					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源						
② 人件費(千円)	27,684	人工	人工	人工	人工	人工
正規	27,684	3.6				
嘱託	0					
合計コスト①+②	27,684					
前年度比	—					

維持課

課長 大西 富夫

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	08200000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	地籍調査事業
-------	--------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	地籍調査事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～35
--------	-----

地籍を明確にするもの

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

四賀地区地籍調査業務
地積の明確化を図るため、土地の実態を科学的且つ総合的に調査する

＜現状に対する認識＞

地籍調査は、国(国土庁)により推進を図ることとしているが、長野県の予算が充分確保できない状況の中、大幅な推進は厳しくなっている。

＜指標の達成状況＞

	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	地籍調査済面積(km ²)				
目標値	8.47	8.67	8.87	9.07	9.27
実績値	8.47				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	7,000				
国・県	4,875				
利用者負担金					
その他					
一般財源	2,125				
② 人件費(千円)	6,157	人工	人工	人工	人工
正規	3,307	0.43			
嘱託	2,850	1			
合計コスト①+②	13,157				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	08200000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	市道管理
-------	------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	主な取り組み		
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	市道管理費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
関係法令(道路法、河川法等)に基づき、市民生活の基礎的インフラとして重要な施設の適切な管理を行うもの。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
<ol style="list-style-type: none"> 市道認定事務(H28実績19件) 道路法及び市道認定要綱に基づき、適正な市道認定を行う 市道管理事務 道路法に基づき、市道付帯設備の管理業務を行う 市道占用等許可業務及び料金徴収(H28許可件数4,649件 占用料106,115千円) 道路法、河川法及び市条例に基づき、市道占用の許可を行う 許認可事務(道路法・河川法) 道路法、河川法及び市条例に基づき許認可事務を行う 境界確認事務(H28実績786件) 官民界との境界確認を行う 特殊車両通行許可協議(H28実績863件) 法に基づき、特殊車両通行許可協議を行う 事故対応業務(H28実績151件) 道路の構造物が原因で発生した市道上の事故及び自損事故で破損した道路施設の事故処理に対応する。 河川防災ステーション管理業務 洪水時等の非常時における水防活動を円滑に行うとともに非常時における防災意識の向上及び地域活動の活性化を図る

＜現状に対する認識＞
<ul style="list-style-type: none"> 関係法令に基づき適正な管理を行う必要がある。 道路用地登記等未処理事業については、所有権者の死亡等の場合相続が行われていないと境界立会や登記が困難である。

＜指標の達成状況＞	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	47,679					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	47,679					
② 人件費(千円)	96,302	人工	人工	人工	人工	人工
正規	82,052	10.67				
嘱託	14,250	5				
合計コスト①+②	143,981					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	08200000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	道路情報管理
-------	--------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	道路情報管理費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	20～
道路法の規定に基づき本市が管理する市道について、道路情報を効率的に管理するもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
松本市道路台帳補正業務 年度ごとに市道の 신설、改良、舗装等に伴い認定、変更、廃止された市道について道路台帳を補正して、図面、各種調書の更新を実施し、道路延長及び面積等の数値を掌握する。 (H28実績 市道認定19件、変更1件、廃止1件) 路線実延長 2,310,624m → 2,312,237m 道路敷面積 11,882,570㎡ → 11,902,205㎡

＜現状に対する認識＞
調書等は地方交付税の算定基礎通知として用いるほか、国土交通省等への報告など各種調査利用している。また、建築確認等に伴う市民の閲覧も多く利用価値は極めて高い。

＜指標の達成状況＞	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	23,673					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	23,673					
② 人件費(千円)	5,383	人工	人工	人工	人工	人工
正規	5,383	0.7				
嘱託	0					
合計コスト①+②	29,056					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	08200000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	負担金
-------	-----

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取組み	
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進		5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

林道蝶ヶ原線に接している、松本市・上田市・青木村の3自治体で構成する管理委員会に対し、維持管理費の一部を負担するもの。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

林道蝶ヶ原線管理委員会
管理団体に対し維持管理費の45%を負担する。

＜現状に対する認識＞

崩落が激しいため現在車両通行止めになっている。今後の管理方法について検討する必要がある。

＜指標の達成状況＞

		総合評価				
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					
② 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	450				
	国・県				
	利用者負担金				
	その他				
一般財源	450				
② 人件費(千円)	769	人工	人工	人工	人工
	769	0.1			
	0				
嘱託					
合計コスト①+②	1,219				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	08200000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	補助金(私道舗装補助金)
-------	--------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
生活環境の向上を図るため、地域から整備要望のある私道等について、舗装工事費に相当する金額を補助金として交付するもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 事業内容 利用のある私道・認定外道路等で、要綱に適合するものについて舗装工事費に相当する一定の金額を補助金として交付
2 補助対象 (1) 幅員1.8m以上の通り抜け道路 (工事費の100分の100) (2) 幅員1.8m以上、かつ、延長35m以上の袋路(工事費の100分の50) (3) 舗装工事に伴い必要となる簡易な排水構造物の設置
3 実績 542件 延長41,676m 事業費377,190千円 平成28年度 4件(岡田東区、宮田、蟻ヶ崎3、島立) 延長L=235m 面積A=669㎡ 事業費2,829千円

＜現状に対する認識＞
平成29年4月1日付で補助制度(補助対象)を一部見直し、市民サービスの向上を図った。今後は補助制度の周知及び補助金活用の推進に努める。

＜指標の達成状況＞	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	2,829					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	2,829					
② 人件費(千円)	2,307	人工		人工		人工
正規	2,307	0.3				
嘱託	0					
合計コスト①+②	5,136					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	08200000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	駅前広場管理
-------	--------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	334	交通のまちづくりの推進	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	駅前広場管理費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

駅前広場・自由通路を利用する市民及び旅客の安全かつ円滑な通行を確保したうえで、施設を効率的に運営しつつサービスの向上を図るもの

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 対象施設
松本駅、北松本駅、平田駅の駅前広場及び自由通路
- 事業内容
 - 指定管理者制度による施設管理
 - 使用料金の徴収
 - 駅前広場使用料
 - 自家用車整理場使用料(松本駅お城口・アルプス口広場)
 - 駅前広場タクシー駐車場使用料(松本駅お城口・アルプス口、北松本駅お城口・アルプス口)
 - 昇降機の維持管理
 - 松本駅エレベーター、エスカレーター
 - 北松本駅エレベーター
 - 平田駅エレベーター

＜現状に対する認識＞

不特定多数の利用者があり、経年経過による施設の損傷も進んでいる中、施設の適正な使用及び利用者の安全確保に努める。

＜指標の達成状況＞

総合評価		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
区分	指標名					
① 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					
② 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	59,381				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	59,381				
② 人件費(千円)	1,538	人工	人工	人工	人工
正規	1,538	0.2			
嘱託	0				
合計コスト①+②	60,919				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	08200000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	道の駅維持管理
-------	---------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	道の駅維持管理費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

道の駅を利用する市民及び観光客等の利便性や安全性を確保し、施設を効率的に運営しつつサービスの向上を図るもの

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 事業概要
県が設置した今井道の駅について、県との管理協定に基づき、市が実施する部分の施設管理を行う。
- 対象施設
駐車場、歩道、公衆便所、休憩施設
- 事業内容
委託による清掃・消耗品の補充等日常的な維持管理

＜現状に対する認識＞

施設の損傷等もあるが、利用者への憩いのスペースを提供するため、特に安全の確保に努める。

＜指標の達成状況＞

		総合評価				
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					
② 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	2,853				
	国・県				
	利用者負担金				
	その他				
一般財源	2,853				
② 人件費(千円)	769	人工		人工	
	769	0.1			
	嘱託	0			
合計コスト①+②	3,622				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	08200000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	リフレッシュロード事業
-------	-------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	7 人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取組み	○生活道路の改善や親子が集う公園の整備
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	リフレッシュロード事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	28～32
--------	-------

流通及び生活に密着した幹線道路をより心地よく、より使いやすくするため、舗装補修だけでなく、植栽・歩道・道路付属施設などを総合的に整備する。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

やまびこ道路他5路線の整備
 車道: 舗装補修、側溝補修、区画線設置、交通安全施設補修
 植樹帯: 街路樹剪定、街路樹補植
 歩道: 舗装補修、縁石補修

＜現状に対する認識＞

従前の道路改良においては、車優先で整備が進められたため、歩行者や自転車への配慮が欠けている道路がある。歩行者や自転車等のすべての利用者に優しい公共空間が必要である。

＜指標の達成状況＞

総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	道路整備率(%)				
目標値	20	40	60	80	100
実績値	20				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	99,988				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	99,988				
② 人件費(千円)	23,070	人工	人工	人工	人工
正規	23,070	3			
嘱託	0				
合計コスト①+②	123,058				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	08200000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	負担金
-------	-----

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

市道の排水を兼ねた県道の道路排水施設について県で改修事業を行うもの。また、急傾斜地崩壊危険箇所として県が整備を行うものに対し工事費の一部を負担するもの。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 県単独兼用側溝整備事業負担金
市道の排水を県が管理している水路に接続し処理しているため、工事費の50%及び事務費として工事費の11%を負担する。
- 急傾斜地崩壊対策事業負担金
市町村の要望により県が急傾斜地崩壊指定箇所の対策工事を行っているため、事業費の5%を負担する。

＜現状に対する認識＞

一部の費用負担で排水処理を推進できる。

＜指標の達成状況＞

総合評価		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
区分	指標名					
① 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					
② 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	5,376				
	国・県				
	利用者負担金				
	その他				
一般財源	5,376				
② 人件費(千円)	769	人工		人工	
	769	0.1			
	0				
嘱託					
合計コスト①+②	6,145				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	08200000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	単独河川維持補修事業
-------	------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	単独河川維持補修事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
河川を維持管理するもの。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
河川の維持及び整備 河川の補修及び河川内の支障木等を撤去する

＜現状に対する認識＞
河川の維持管理において、緊急対応等、市民生活に直結する重要な業務である。

＜指標の達成状況＞	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	7,176					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	7,176					
② 人件費(千円)	1,054	人工	人工	人工	人工	人工
正規	769	0.1				
嘱託	285	0.1				
合計コスト①+②	8,230					
前年度比	—					

公園緑地課

課長 牧垣 孝一

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	公園緑地課	課CD	08230000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	美しいまち松本づくり事業
-------	--------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	7 人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち		主な取組み	○生活道路の改善や親子が集う公園の整備
基本施策(個別目標)	422	花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	松本版総合戦略	⑧	成熟型社会の都市基盤づくり

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	美しいまち松本づくり事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	H5 ～
--------	------

花いっぱい運動発祥の地として、第57回全日本花いっぱい松本大会の開催を契機に、市民が地域や自宅で花や緑を装飾し、育てる活動を推進するもの
また、花いっぱい運動が継続できる仕組みづくりやPRを行い、緑豊かな美しく住みよいまちづくりにつなげていくもの

- ＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
- 第57回全日本花いっぱい松本大会の開催に向けた準備、プレイベントの開催(5事業)
 - 地区、町会、育成ボランティア団体への花苗の配布(53, 300本)
 - 全日本花いっぱい連盟、特定非営利活動法人街を花いっばいにする会への支援
 - 第36回全国都市緑化信州フェアに向けた開催準備、協力
 - 生垣設置補助事業の推進
緑豊かな景観形成、防災面からブロック塀撤去を伴う生垣設置の推進、チラシ配布による啓発(申請件数67件 うちブロック塀撤去を伴う生垣設置16件)
 - 家屋新築・誕生記念樹交付事業の推進
(家屋新築記念樹申請件数459件、誕生記念樹申請件数741件)
 - オープンガーデン事業の推進
オープンガーデンガイドブックの作成、見学会等の実施

＜現状に対する認識＞

・第57回全日本花いっぱい松本大会開催後の花いっぱい運動を継続するための施策が必要である。

＜指標の達成状況＞

総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	生垣設置補助の延べ延長数				
目標値(m)	920	1,840	2,760	3,680	4,600
実績値(m)	778.8				
達成度	84.7%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	62,680				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	62,680				
② 人件費(千円)	21,532	人工	人工	人工	人工
正規	21,532	2.8			
嘱託					
合計コスト①+②	84,212				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	公園緑地課	課CD	08230000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	負担金
-------	-----

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	7 人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち		主な取組み	○生活道路の改善や親子が集う公園の整備
基本施策(個別目標)	422	花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	松本版総合戦略	⑧	成熟型社会の都市基盤づくり

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

＜事業の狙い＞

事業計画年度	H26 ~
--------	-------

公園及び緑化の関係団体に加入することにより、国、県、他市の緑化活動の情報を共有し、業務に活かしていくもの

- ＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
- 全国都市公園整備促進協議会
(負担金 42千円 総会、役員会、公園緑地関係資料集の送付)
 - 国営アルプスあづみの公園及び周辺地域整備促進期成同盟会
(負担金 3千円 総会、理事会、幹事会、視察研修)
 - 灌水施設組合
(負担金12千円 梓川ふるさと公園の水の使用 総会、役員会)
 - 日本公園緑地協会
(負担金85千円 総会、公園緑地関係書籍の送付、講習会)
 - 千曲川・犀川河川緑地連絡会
(負担金27千円 委員会、幹事会、活性化事業、視察研修)

＜現状に対する認識＞

・会への加入の意義やメリットについて、年度ごとに確認を行う。

＜指標の達成状況＞

区分	総合評価				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値(千円)					
実績値(千円)					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	169									
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	169									
② 人件費(千円)	769	人工		人工		人工		人工		人工
正規	769	0.1								
嘱託										
合計コスト①+②	938									
前年度比	—									

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	公園緑地課	課CD	08230000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	公園維持管理事業
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	7 人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち		主な取組み	○生活道路の改善や親子が集う公園の整備
基本施策(個別目標)	422	花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
—	—	—	松本版総合戦略	⑧	成熟型社会の都市基盤づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	公園維持管理費

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

市民の健全な心身を育む場として公共の福祉の増進を図るとともに、災害時における避難所として防災対策の推進するため、適正な公園施設の維持管理を行うもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 業務委託
 - 公園緑地の維持管理業務
シルバー人材センター他業務委託 (34公園)
 - ゴミ収集・処分業務
(156カ所 167t)
 - 害虫防除駆除
(92カ所 436本処理)
 - 除草業務
ア 草刈 (6カ所 67,590㎡)
イ 芝除草 (12カ所 102,500㎡)
ウ 植樹帯除草 (14カ所 26,450㎡)
 - 松本市アルプスドリームコースター、軟水器、電気工作物、浄化槽、時計、消防設備等の保守点検
- 施設の点検・維持補修
点検結果において、補修が必要となった施設の営繕及び更新

<現状に対する認識>

・公園設備の老朽化が進んでいるため、早急な対策が必要となっている。

<指標の達成状況>

総合評価		B				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
① 成果指標(指標名)	公園遊具施設事故件数					
目標値	0	0	0	0	0	
実績値	6					
達成度						
② 成果指標(指標名)						
目標値						
実績値						
達成度						

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	190,228				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	190,228				
② 人件費(千円)	25,667	人工	人工	人工	人工
正規	17,687	2.3			
嘱託	7,980	2.8			
合計コスト①+②	215,895				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	公園緑地課	課CD	08230000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	小鳥と小動物の森管理事業
-------	--------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	7 人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち		主な取組み	○生活道路の改善や親子が集う公園の整備
基本施策(個別目標)	413	環境教育の充実	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
—	—	—		松本版総合戦略	⑤

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	小鳥と小動物の森管理費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
身近な動物たちとの触れ合いを楽しみ、市民の健全な心身を育む場を提供するため、適正な施設維持管理を行うもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 施設管理業務委託 施設の維持管理と動物の健康管理
2 施設の維持補修 老朽化した設備の改修工事 (イノシシ舎給水設備 1式)

＜現状に対する認識＞
・経年による施設の老朽化が著しく、来園者からは、より観察しやすく動物の生育環境に即した施設への改修要望が寄せられている。
・飼育管理業務を行う面からも、より省力化を図った設備が求められている。

＜指標の達成状況＞	総合評価	C			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	動物園入園者数				
目標値	180,000	180,000	180,000	180,000	180,000
実績値	121,604				
達成度	67.6%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	40,167				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	40,167				
② 人件費(千円)	2,877	人工	人工	人工	人工
正規	2,307	0.3			
嘱託	570	0.2			
合計コスト①+②	43,044				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	公園緑地課	課CD	08230000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	緑対策
-------	-----

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	緑対策費

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	7 人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち		主な取組み	○生活道路の改善や親子が集う公園の整備
基本施策(個別目標)	422	花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	松本版総合戦略	⑧	成熟型社会の都市基盤づくり

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H26 ～
街中の緑を守り、緑化活動を推進するため、様々な事業を実施しながら、市民に緑化活動の意義を啓発し、緑化に対する意識を高めていくもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 地区、町会、育成ボランティア団体への緑化木等の配布
2 市指定保存樹維持管理事業補助金制度の活用、周知 平成28年9月制定、保存樹木1本につき補助率50%、補助金額上限25万円(申請件数 3件)
3 市街地緑化推進イベントの開催(10月) 緑化に関する講習会、イベント、ハンギングバスケット作品展示
4 松本市緑化推進委員協議会への支援、協力 (委員数111名、総会1回、幹事会4回、春・秋講習会、春・秋花苗配布)
5 樹勢相談、緑陰講座の開催 (樹勢相談26件、緑陰講座9回・131人参加)

＜現状に対する認識＞
・市指定保存樹維持管理事業補助金制度の所有者への周知が必要である。 ・花いっぱい運動と関連づけた緑化活動を実施していくことが必要である。

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	市指定保存樹維持管理事業補助金予算執行率				
目標値(千円)	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250
実績値(千円)	548				
達成度	43.8%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	9,817					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	9,817					
② 人件費(千円)	4,614	人工	人工	人工	人工	人工
正規	4,614	0.6				
嘱託						
合計コスト①+②	14,431					
前年度比	—					

事務事業評価票

事務事業名	単独アルプス公園整備事業
-------	--------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	単独アルプス公園整備事業費

部局名	建設部	課名	公園緑地課	課CD	08230000
-----	-----	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	7 人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち		主な取組み	○生活道路の改善や親子が集う公園の整備
基本施策(個別目標)	422	花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
—	—	—		松本版総合戦略	⑧成熟型社会の都市基盤づくり

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H28～H33
心と体の健康づくりの推進に寄与する場を提供するため、総合公園であるアルプス公園の施設整備及び松くい虫による被害林の整備を行うもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 園路の改築
(家族広場園路舗装工 L=87m)
- 旧まきば山荘管理地の施設整備
(土台補修工 一式)
- 松くい虫被害木の除去(森林整備)
(松本市ドリームコースター施設内伐倒処理 75本)

＜現状に対する認識＞

- 子どもや高齢者をはじめ誰もが安全で安心して利用できる公園が求められている。
- 公園施設及び遊具の老朽化が進んでおり、早急な対策が必要となっている。
- 松くい虫被害が急速に広まり公園内の施設に影響を及ぼす恐れがある。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	施設整備費率				
目標値	4.63%	47.29%	74.34%	91.87%	96.60%
実績値	4.63%				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	3,459				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	3,459				
② 人件費(千円)	4,614	人工	人工	人工	人工
正規	4,614	0.6			
嘱託	0				
合計コスト①+②	8,073				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	公園緑地課	課CD	08230000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	公園施設長寿命化事業
-------	------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	7 人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち		主な取組み	○生活道路の改善や親子が集う公園の整備
基本施策(個別目標)	422	花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
—	—	—	松本版総合戦略	⑧	成熟型社会の都市基盤づくり

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	公園施設長寿命化事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	H26～H33
--------	---------

既存都市公園施設の老朽化が進んでいる状況で、維持管理におけるライフサイクルコストの軽減が求められているため、老朽化した施設の改築・更新を計画的に行うもの

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

改築・更新工事の実施
策定した長寿命化計画に基づき、施設改築・更新工事を19公園実施

＜現状に対する認識＞

・公園施設及び遊具の老朽化が進んでおり、早急な対策が必要となっている。長寿命化計画未策定公園(160公園中40公園)についても、今後の維持管理を計画的に実施する必要がある。

＜指標の達成状況＞

総合評価		A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
① 成果指標(指標名)	公園施設の改築・更新の必要な公園数					
目標値	70	55	40	31	22	
実績値	70					
達成度	100.0%					
② 成果指標(指標名)						
目標値						
実績値						
達成度						

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	60,009				
国・県	30,000				
利用者負担金					
その他					
一般財源	30,009				
② 人件費(千円)	4,614	人工	人工	人工	人工
正規	4,614	0.6			
嘱託	0				
合計コスト①+②	64,623				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	公園緑地課	課CD	08230000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	単独公園整備事業
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	7 人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち		主な取組み	○生活道路の改善や親子が集う公園の整備
基本施策(個別目標)	422	花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
—	—	—	松本版総合戦略	⑧	成熟型社会の都市基盤づくり

<予算上の位置付け>	
会計名	一般会計
予算中事業名	単独公園整備事業費

<事業の狙い>	事業計画年度	H7~H35
心と体の健康づくりの推進に寄与する場を提供するため、都市公園の整備、補植等による緑の再整備及び都市計画法第33条により生み出された未整備緑地の整備を行うもの		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>
1 都市公園及び開発行為緑地の整備 既存の都市公園の再整備と未整備となっている開発行為緑地の整備 (都市公園21件、開発4件)
2 緑の再整備 既存施設の緑地帯等に植栽木を補植 (2件)

<現状に対する認識>
・公園施設は樹木の老木化及び遊具の老朽化が進んでいるため、早急な対策が必要となっている。

<指標の達成状況>	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	総事業費の公園整備率				
目標値	53.54%	57.81%	62.04%	69.63%	77.22%
実績値	53.53%				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	20,314				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	20,314				
② 人件費(千円)	9,228	人工	人工	人工	人工
正規	9,228	1.2			
嘱託	0				
合計コスト①+②	29,542				
前年度比	—				

住宅課

課長 田中 久登

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	住宅課	課CD	08250000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	市営住宅管理
-------	--------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	市営住宅管理費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

指定管理者制度を導入し、民間の運営ノウハウ等による市民サービス向上を図り、住宅に困窮している低額所得者に低廉な家賃で住宅を提供するもの。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 指定管理者による市営住宅管理運営業務(指定管理者制度の導入)

(1) 市営住宅管理戸数 2,881戸
(内訳)

ア 公営住宅	36団地	281棟	2,685戸
イ 特定公共賃貸住宅	6団地	16棟	104戸
ウ 特定目的住宅	20団地	40棟	74戸
エ 再開発住宅	1団地	1棟	18戸

2 指定管理者

(1) 長野県住宅供給公社
平成26年4月1日～平成31年3月31日まで

＜現状に対する認識＞

長野県住宅供給公社が指定管理者として市営住宅の維持管理を行うことにより、市域で公社が管理している県営住宅等を含めた、よりきめ細やかな市民サービスの提供が可能となっている。
市営住宅耐震化事業による用途廃止住宅及び移転先住宅を募集停止としているため、入居率が低くなっている。

＜指標の達成状況＞

総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	年度末における入居戸数(戸)				
目標値	2,881	2,892	2,892	2,892	2,892
実績値	2,339				
達成度	81.2%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	152,573				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	152,573				
② 人件費(千円)	2,307	人工	人工	人工	人工
正規	2,307	0.3			
嘱託	0				
合計コスト①+②	154,880				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	住宅課	課CD	08250000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	福寿草ヶ丘団地管理事業
-------	-------------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>			
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約			
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	市長公約	主な取組み			
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実	5つの重点目標				
—	—	—	松本版総合戦略				

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	福寿草ヶ丘団地管理費

<事業の狙い>

事業計画年度	～
福寿草ヶ丘団地未分譲地等の景観を保全し、良好な住環境を確保するもの。	

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 福寿草ヶ丘団地の未分譲地等に繁殖する雑草を除去するための草刈り業務委託
(1) 未分譲地 11区画(全50区画) 約3,500㎡
(2) 緑地帯 約 900㎡

<現状に対する認識>

未分譲地の維持管理を行い、販売促進に努める。

<指標の達成状況>

		総合評価		B		
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	福寿草ヶ丘団地販売区画数(区画)					
	目標値	50	50	50	50	50
	実績値	39				
	達成度	78.0%				
② 成果指標(指標名)						
	目標値					
	実績値					
	達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	108				
	国・県				
	利用者負担金				
	その他				
	一般財源	108			
② 人件費(千円)	2,307	人工	人工	人工	人工
	正規	2,307	0.3		
	嘱託	0			
合計コスト①+②	2,415				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	住宅課	課CD	08250000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	市営住宅営繕
-------	--------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	市営住宅営繕費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

市営住宅の不良個所を修繕することにより、建物の保全と安全を確保するとともに、住宅の長寿命化を図るもの。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 市営住宅の維持管理のため、不具合等の営繕工事を行うもの。
 (1) 市営住宅戸数 2,881戸
 (内訳)
 ア 公営住宅 36団地 281棟 2,685戸
 イ 特定公共賃貸住宅 6団地 16棟 104戸
 ウ 特定目的住宅 20団地 40棟 74戸
 エ 再開発住宅 1団地 1棟 18戸

2 営繕対象戸数 2,881戸
 耐震不足等による解体除却予定住宅のうち、入居中の戸数154戸及び新築住宅21戸を含む。

＜現状に対する認識＞

高度成長期に建設された市営住宅の老朽化が進み、既存住宅のストックマネジメントがますます重要となっており、限られた予算の範囲内で、計画的な営繕工事に心掛けている。

＜指標の達成状況＞

総合評価	A
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	年度末における営繕対象住宅への入居戸数(戸)				
目標値	2,881	2,892	2,892	2,892	2,892
実績値	2,339				
達成度	81.2%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	9,966				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	9,966				
② 人件費(千円)	6523	人工	人工	人工	人工
正規	5383	0.7			
嘱託	1140	0.4			
合計コスト①+②	16,489				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	住宅課	課CD	08250000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	地域住宅等整備事業(社会資本)
-------	-----------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取組み	
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実		5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	地域住宅等整備事業(社会資本)

＜事業の狙い＞

事業計画年度	H15～H31
市営住宅の建物・設備等の延命及び良質なストック改善を図るもの。	

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

市営住宅ストック改善事業
(概要)

- 受水槽改修
老朽化した受水槽を計画的に改修するもの。
- 結露対策工事
市営住宅の結露として外壁の外断熱工事を行うもの。
- 防水保護層改修
市営住宅の雨漏りを防ぐため屋根、ベランダの防止工事を行うもの。
- 年間事業費
8千6百万円

＜現状に対する認識＞

- ・国庫交付金の状況により計画が変動している。
- ・国からの安定的な財源確保が課題となっている。

＜指標の達成状況＞

総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	交付金対象事業延べ工事棟数				
目標値	46	55	64	72	80
実績値	46				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	93,132				
国・県	24,187				
利用者負担金					
その他					
一般財源	68,945				
② 人件費(千円)	4614	人工	人工	人工	人工
正規	4614	0.6			
嘱託	0				
合計コスト①+②	97,746				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	住宅課	課CD	08250000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	地域住宅等整備事業(社会資本)
-------	-----------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	地域住宅等整備事業(社会資本)

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H15～H31
老朽化した市営住宅を建替えることにより、密集した住宅街を解消し、防災上安全な住宅街にするとともに、ユニバーサルデザインに配慮した住宅を建設する。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

市営住宅団地建替事業 (概要)
1 寿団地建替
(1) 密集した住宅街の解消、防災上安全な住宅街の確保、ユニバーサルデザインに配慮した住宅
(2) 国土交通大臣の承認を受けた法定建替事業
(3) 事業計画
H15～22年度 A街区整備4棟125戸建設
H23～31年度 B街区整備5棟111戸建設(除去 H26年度実施96戸)
(4) 事業費
約26億6千万円
(5) 平成28年度までの実績
A街区 4棟125戸完成
B街区 1棟 21戸(B-2棟)完成
2 芳野町団地建替
(1) 平成11年度に計画された4棟のうち1棟(40戸)が未完成
(2) 公営住宅等長寿命化計画では、10年後の市営住宅必要戸数が充足されているため計画を当面凍結

＜現状に対する認識＞

・平成31年度完了に向けて計画的に進捗している。
・国からの安定的な財源確保が課題となっている。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	寿団地建替戸数				
目標値	146	161	185	236	
実績値	146				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	391,398				
国・県	192,986				
利用者負担金					
その他					
一般財源	198,412				
② 人件費(千円)	7,690	人工	人工	人工	人工
正規	7,690	1			
嘱託	0				
合計コスト①+②	399,088				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	住宅課	課CD	08250000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	地域住宅等整備事業
-------	-----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	市営住宅耐震化事業

＜事業の狙い＞

事業計画年度	28～32
--------	-------

松本市耐震改修促進計画及び松本市公営住宅等長寿命化計画に基づき、現在の建築基準法等の耐震関係規定に適合しない耐震不足の市営住宅を順次廃止していくもの。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 事業内容

- (1) 移転交渉及び移転補償
- (2) 移転先住戸の改修

2 移転対象者

(1) 二子団地	86戸	H28年度移転希望戸数	46戸
(2) 寿団地1丁目	53戸	H28年度移転希望戸数	31戸
(3) 寿団地3丁目	15戸	H28年度移転希望戸数	7戸
合計	154戸		84戸

＜現状に対する認識＞

廃止に当たっては、対象者が移転先として希望する既存市営住宅の改修を行い、順次移転を行っている。ただし、今後は移転対象者が希望する団地に空きがない等の理由により、移転が進まない場合も考えられるため、よりきめ細やかな対応により移転先を決定し、事業を推進する必要がある。

＜指標の達成状況＞

総合評価	B				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	年度末における移転完了戸数(戸)				
目標値	84	114	149	154	154
実績値	74				
達成度	88.1%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	68,641				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	68,641				
② 人件費(千円)	5,840	人工	人工	人工	人工
正規	3,845	0.5			
嘱託	1,995	0.7			
合計コスト①+②	74,481				
前年度比	—				

建築指導課

課長 内城 伸一

事務事業評価票

事務事業名	狭あい道路対策事業
-------	-----------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	狭あい道路対策事業費

部局名	建設部	課名	建築指導課	課CD	08300000
-----	-----	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	3 地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち		主な取組み	○震災や噴火などの災害に備えた国土強靱化
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜事業の狙い＞	事業計画年度	28～33
安全で良好な生活環境の向上を図るため、松本市狭あい道路の拡幅整備に関する条例(平成24年条例第29号)に基づき、市街化区域内にある市道の狭あい道路(幅員1.8m以上4m未満)を対象に、建築行為などの際に、後退用地についての協議を義務付け、拡幅整備に必要な経費の一部を市が負担し、狭あい道路の拡幅整備の促進を図るもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

【事業実施内容】
1 拡幅整備に必要な経費の一部を市が負担し、狭あい道路整備の促進を図るもの
2 建築確認申請時等に協議を行い、道路後退用地の測量登記と物件補償(補助金)後に道路整備を行い、道路環境を改善

【活動指標(実績値)】

1 寄附率 25%

＜現状に対する認識＞

住宅等建築の際に協議を行い、後退用地の寄附をお願いしているが寄附率が伸び悩んでいる状態である。

＜指標の達成状況＞	総合評価	D			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	寄 附 率				
目標値	45%	46%	47%	49%	50%
実績値	25%				
達成度	55.6%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	6,929				
国・県	3,800				
利用者負担金					
その他					
一般財源	3,129				
② 人件費(千円)	1,538	人工	人工	人工	人工
正規	1,538	0.2			
嘱託	0				
合計コスト①+②	8,467				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建築指導課	課CD	08300000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	建築物耐震補強促進事業
-------	-------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	3 地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち		主な取組み	○震災や噴火などの災害に備えた国土強靱化
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	建築物耐震補強促進事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	28～33
建築物の地震に対する安全性の向上を図り、地震に強いまちづくりを推進するため、旧耐震基準の木造住宅等の耐震診断実施や耐震改修の補助を行います。 また、松本市耐震改修促進計画を踏まえ、要緊急安全確認大規模建築物や避難路沿道建築物の耐震化を促進するもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

【事業実施内容】
1 木造住宅耐震診断、木造住宅耐震改修、避難施設耐震診断等補助
2 要緊急安全確認大規模建築物の公表
3 避難路沿道建築物調査に基づく義務化路線の検討
【活動指標(実績値)】
1 住宅の耐震化率 82.2%

＜現状に対する認識＞

耐震診断、補強工事のニーズが高まってきているので、一層の周知と予算の確保が必要である。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	住宅の耐震化率				
目標値	83%	85%	87%	89%	90%
実績値	82.20%				
達成度	99.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	18,870				
国・県	11,132				
利用者負担金					
その他					
一般財源	7,738				
② 人件費(千円)	7,536	人工	人工	人工	人工
正規	7,536	0.98			
嘱託	0				
合計コスト①+②	26,406				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建築指導課	課CD	08300000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	災害危険住宅移転事業
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>			
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます	
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち	市長公約	主な取組み	○震災や噴火などの災害に備えた国土強靱化		
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進	5つの重点目標	4	暮しと生活の基盤づくり		
—	—	—	—	松本版総合戦略			

<予算上の位置付け>	
会計名	一般会計
予算中事業名	災害危険住宅移転事業費

<事業の狙い>	事業計画年度	H28～
土砂災害危険警戒区域等において、住民の生命の安全を確保するため、危険住宅を除却、解体、曳家をして移転する者に対して補助するもの		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

【事業実施内容】
1 土砂災害特別警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律(第9条)に規定する知事が指定した土砂災害特別警戒区域における既存不適格住宅の除却や住宅の建設事業への補助
【活動指標(実績値)】
1 災害危険住宅除去件数 1件(島内地区)

<現状に対する認識>

申請によるため、予算措置、国県との調整等の急な対応が困難である。

<指標の達成状況>	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	802				
国・県	601				
利用者負担金					
その他					
一般財源	201				
② 人件費(千円)	154	人工	人工	人工	人工
正規	154	0.02			
嘱託	0				
合計コスト①+②	956				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建築指導課	課CD	08300000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	建築確認事務
-------	--------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	3 地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち		主な取組み	○震災や噴火などの災害に備えた国土強靱化
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	建築確認事務費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
国民の生命、健康及び財産の保護を図るため、建築基準法第6条に定めた敷地、構造、設備等に適合する建築物であることを、建築主からの申請又は通知により建築主事が確認し、確認済証を交付する他、建築許可証の交付等を行う。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

【事業実施内容】
指導審査担当の業務を行うための事務費等
1 費用弁償(建築審査会その他開催に伴う委員等の車賃)
2 普通旅費(職員出張に伴う鉄道賃、宿泊料及び日当)
3 消耗品費(図書追録、各種法令集、各種事務用品、法改正等により業務上必要な参考図書)
4 手数料(税金等窓口収納手数料)
5 借上料(建築情報管理システム用サーバー機器一式)
6 委託料(構造計算適合性判定、建築情報管理システム保守、指定道路図管理システム保守、指定道路図作成)
【活動指標(実績値)】
1 確認済証交付件数 142件
2 許可証交付件数 84件

＜現状に対する認識＞

確認申請の9割を民間建築確認機関が行う現状の中で、数少ない市の建築確認業務を適切に行い、違反是正、定期報告、民間建築確認機関の監視等の行政庁でなければ出来ない業務に生かして行く事が大切である。
--

＜指標の達成状況＞	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	5,007				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	5,007				
② 人件費(千円)	42,987	人工	人工	人工	人工
正規	42,987	5.59			
嘱託	0				
合計コスト①+②	47,994				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建築指導課	課CD	08300000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	開発行為許可事務
-------	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	3 地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取組み	○地域での見守りや支援の拡充で孤立を防止
基本施策(個別目標)	331	調和した土地利用の推進	5つの重点目標	4	暮しと生活の基盤づくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	開発行為許可事務費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
都市の健全な発展と秩序ある整備を図るため、都市計画マスタープランや立地適正化計画等のまちづくりの将来像を示す内容を実現する手段の一つとして、適正な都市的土地利用の実現を行うもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

【事業実施内容】
1 都市計画法(昭和43年法律第100号)の規定による開発行為等の許可
2 大規模盛土造成地変動予測調査を実施
【活動指標(実績値)】
1 開発行為等許可等の件数 387件

＜現状に対する認識＞

人口減少高齢化の進展により、空き家等の発生、将来的なインフラの維持・修繕・更新に係るコストの増大等の懸念が生じている。そのため、コンパクトシティを形成していく必要性が高まっていることから、開発許可制度はまちづくりの将来像を実現する手段として重要となってきている。

＜指標の達成状況＞	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	4,013				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	4,013				
② 人件費(千円)	33610	人工	人工	人工	人工
正規	30760	4			
嘱託	2850	1			
合計コスト①+②	37,623				
前年度比	—				

城下町整備本部

次長 滝澤 敏章

事務事業評価票

事務事業名	松本城周辺整備事業(防災安全)
会計名	一般会計
予算中事業名	松本城周辺整備事業費

部局名	建設部	課名	城下町整備本部	課CD	08600000
-----	-----	----	---------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	7 人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち		主な取組み	○生活道路の改善や親子が集う公園の整備
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
—	—	—	松本版総合戦略	⑥	コンパクトな都市と賑わいの創出

＜事業の狙い＞	事業計画年度	22～31
観光客や市民が安心して歩ける道路空間づくりを推進し、防災拠点となる松本城公園や市役所へのアクセス性向上を図る。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
内環状北線整備事業
1 用地取得及び条件整備 事業用地の取得(平成28年度までの事業用地取得率 52%)
2 用地権利者調査業務
3 補償再算定業務
4 土壌汚染状況調査業務

＜現状に対する認識＞
平成31年度事業完了※(最短事業計画であり、相手方との交渉等により数値が変動する場合があります。)

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	事業の進捗率				
目標値	55%	75%	94%	100%	
実績値	55%				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	299,132				
国・県	164,520				
利用者負担金					
その他	127,800				
一般財源	6,812				
② 人件費(千円)	16,235	人工	人工	人工	人工
正規	15,380	2			
嘱託	855	0.3			
合計コスト①+②	315,367				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	城下町整備本部	課CD	08600000
-----	-----	----	---------	-----	----------

事務事業名	単独松本城周辺整備事業
-------	-------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	松本城周辺整備事業費

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	7 人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち		主な取組み	〇生活道路の改善や親子が集う公園の整備
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
—	—	—	松本版総合戦略	⑥	コンパクトな都市と賑わいの創出

<事業の狙い>

事業計画年度	22~31
--------	-------

観光客や市民が安心して歩ける道路空間づくりを推進し、防災拠点となる松本城公園や市役所へのアクセス性向上を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 内環状北線整備事業
(1) 用地取得及び条件整備 事業用地の取得(平成28年度までの事業用地取得率 52%)
(2) 不動産鑑定業務
(3) 電線共同溝予備設計業務
(4) 土質調査業務
(5) 内環状北線管理工事業務
2 市道1057号線整備事業
(1) 用地交渉

<現状に対する認識>

平成31年度事業完了※(最短事業計画であり、相手方との交渉等により数値が変動する場合がある。)

<指標の達成状況>

総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	事業の進捗率				
目標値	55%	75%	94%	100%	
実績値	55%				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	9,290				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	9,290				
② 人件費(千円)	15,950	人工	人工	人工	人工
正規	15,380	2			
嘱託	570	0.2			
合計コスト①+②	25,240				
前年度比	—				

事務事業評価票

作成日 平成29年9月26日

部局名	建設部	課名	城下町整備本部	課CD	08600000
-----	-----	----	---------	-----	----------

事務事業名	国庫補助南・西外堀復元事業
-------	---------------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞			
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます		
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち	主な取組み	○市立博物館の移転、歴史資産の保存継承			
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	5つの重点目標				
—	—	—	松本版総合戦略				

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	国庫補助南・西外堀復元事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	H23 ~ H33
--------	-----------

「松本城およびその周辺整備計画」及び、「松本市歴史的風致維持向上計画」に基づき、文化財保護と歴史的景観の維持向上を図る。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 松本城南・西外堀復元事業
 (1) 用地取得及び条件整備
 事業用地の取得(平成28年度までの事業用地取得率 43%)

＜現状に対する認識＞

平成33年度復元完了※(最短事業計画であり、相手方との交渉等により数値が変動する場合がある。)

＜指標の達成状況＞

		総合評価		A		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
① 成果指標(指標名)	事業の進捗率					
目標値	33%	46%	64%	82%	90%	
実績値	33%					
達成度	100.0%					
② 成果指標(指標名)						
目標値						
実績値						
達成度						

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	141,787				
国・県	113,429				
利用者負担金					
その他	28,358				
一般財源					
② 人件費(千円)	15,950	人工	人工	人工	人工
正規	15,380	2			
嘱託	570	0.2			
合計コスト①+②	157,737				
前年度比	—				

事務事業評価票

作成日 平成29年9月26日

部局名	建設部	課名	城下町整備本部	課CD	08600000
-----	-----	----	---------	-----	----------

事務事業名	単独南・西外堀復元事業
-------	-------------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち		主な取組み	〇市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	単独南・西外堀復元事業費

<事業の狙い>

事業計画年度	H23 ~ H33
--------	-----------

「松本城およびその周辺整備計画」及び、「松本市歴史的風致維持向上計画」に基づき、文化財保護と歴史的景観の維持向上を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 松本城南・西外堀復元事業

- 用地取得及び条件整備
事業用地の取得(平成28年度までの事業用地取得率 43%)
- 補償算定等業務
- 買収後事業用地管理業務
- 代替地購入及び整備業務

<現状に対する認識>

平成33年度復元完了※(最短事業計画であり、相手方との交渉等により数値が変動する場合がある。)

<指標の達成状況>

		総合評価		A		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
① 成果指標(指標名)	事業の進捗率					
目標値	33%	46%	64%	82%	90%	
実績値	33%					
達成度	100.0%					
② 成果指標(指標名)						
目標値						
実績値						
達成度						

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	53,210				
国・県					
利用者負担金					
その他	53,210				
一般財源					
② 人件費(千円)	16,235	人工	人工	人工	人工
正規	15,380	2			
嘱託	855	0.3			
合計コスト①+②	69,445				
前年度比	—				